



報 窓 同 工 會

2009

校 歌

嶺は香づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤香霊の
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤労一すじに
進む健児の意気高し

時つ嶺は嶮しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

同窓会員の皆様益々御清栄のこととお慶び申し上げます。今年は一〇〇年に一度の不況の年に当たり世界中が底の見えない経済危機に苦しむ中、日本経済も大変な状況にあります。また今年に入って半導体産業の業績不振によりその影響が会津に及んでおります。

デフレスパイラル、リストラ、賃金カット、経済破綻などくらい言葉ばかりがメディアにあふれています。少子化・高齢化社会の加速、地球環境の温暖化問題など深刻化しています。多くの人々民族間で紛争が絶えず世界平和の危機的状況は脱していません。そして信じられない事件の多発、このようにわれわれの身の廻りに大きな不安ばかりが渦巻いているようです。人々は今希望を失いかけていないでしょうか。今こそ我々が夢と明る

い未来の礎を築いていきましょう。いや、いかなければなりません。昨年梅津会長が亡くなられ（平成二十年七月三日）、その後会長代行として務め十月十八日の総会に推挙され、その重責を引き受けました。先代の梅津会長の功績が大きいもので、務めることが大変ですが、自分の力を十分に発揮して務めてまいります。これも副会長・幹事長・幹事・特に吉田顧問の力添えがあればこそ、今後同窓会運営の為出来るものと確信しております。



『就任一年を顧みて』

同窓会会長 手代木利夫

（昭28年建築科卒）

同窓会報告事項（総会後）
入会式（二月二十七日）二百七十七名の入会、同日同窓会長賞を授与し、入会式を終えました。年間を通じて方部別会工会に東京・近畿・東海・福島・郡山・猪苗代・坂下・会津美里、科別会工会として電友会・セウ友会・美修会・建友会・機友会、職場別として日立会・本部同窓会・若松会工会に出席してきました。

学校行事で卒業式（松江賞）、入学式に出席し祝辞を述べてまいりました。松江財団法人の運営、鶴翔会館運営委員会に出席し、会津工業高等学校校評議員の委嘱を受け、取り組んでおります。現在、学校でもものづくりに対してPTAと共に協力して行くつもりです。会員の協力はもとより、工業学校の特殊性を生じて出来る限りのことをするつもりです。対外的にも協力し合い進んでまいります。生徒に対して学業は勿論、スポーツ、生徒会課外活動に対してPTAと協力して応援してまいります。また、毎年発行しております会工同窓会会報に対してご協力をお願いします。

最後に、総会（十月十七日）を予定しております。この時母校で三年に一度の会工祭（十月十六日・十八日）を開催しておりますので、見て下さるようお願いいたします。苦しい予算内で出来ることより実行してまいりますので、今後の同窓会活動に諸兄のご指導ご協力を賜りながら母校発展のために尽くす所存であります。御協力の程重ねてお願い申し上げます。

同窓会総会



定例総会 平成20年10月18日

関連記事

同窓会事業報告(2008.10~2009.9)

- ▶平成20年
 10月 3日 会計監査
 10月 4日 会津美里会工創立総会
 10月 9日 第1回役員会
 10月13日 若松会工研修会「猪苗代町 迎賓館 見学」
 10月18日 会工同窓会総会
 11月 1日 電友会総会
 11月10日 猪苗代会工総会
 11月19日 三役会
 12月 6日 日立会工総会
 ▶平成21年
 1月17日 会津会工新年会
 2月 9日 第2回役員会
 2月 9日 会報編集委員会
 2月24日 三役会
 2月27日 同窓会入会式
 2月27日 役員会
 3月 1日 会工高卒業式
 3月 1日 卒業祝賀会
 3月14日 福島会工総会
 3月17日 第1回会報編集委員会
 3月28日 建友会総会
 3月31日 美修会総会
 4月 3日 会工職員クラブ歓送迎会
 4月 8日 会工高入学式
 4月 8日 会報編集委員会
 4月 8日 第2回役員会
 5月16日 郡山会工総会
 6月 7日 東海会工会 //
 6月20日 東京会工会 //
 6月21日 近畿会工会 //
 7月 4日 機友会総会 //
 7月10日 役員会
 7月18日 セラ友会総会
 9月 2日 坂下会工総会
 9月15日 同窓会会報2009発行

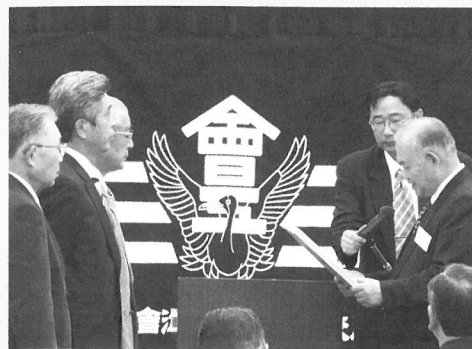
懇親会・祝賀会

平成20年10月18日
 ホテルいづみやにて

会工同窓会総



平成20年10月 定例総会



会津工業高校 百十年に向かって 輝く成果と夢実現の会工へ

校長 渡邊 秀雄

全国各地でご活躍の会津工業高校同窓生の皆様、日頃より母校・生徒の為に情熱あふれるご指導・ご援助を賜り心より感謝申し上げます。
 さて、今年で百七十年を迎えた会津工業高等学校は皆様のご支援協力の下、地域社会をはじめ各地において会工魂を発揮しております。

母校も、文部科学省指定事業のスーパー専門校「目指せスペシャリスト事業」において、『寮麦天目茶碗の制作とおしたスペシャリスト育成への挑戦』というテーマで、素晴らしい成果を納め、事業終了後、平成二十年度から現在に至るまで、研究実践の蓄えを十分にかし地域活性化に結びつく取り組みなどについて積極的に取り組んでおります。また工業高校でのビジネスモデル化等についても検討していきたく思っています。

平成十九年六月より開始した、文部科学省・経済産業省の事業である『会津ものづくり人材育成事業』は、今年度で指定事業期間の最終年度を迎えます。現在地域・企業・矯正の各機関と連携強化を図り最後の取り組みに係っております。地域企業・自治体と工業高等学校と共同で取り組み、より高度の技術・技能の体験・習得ならびに先進的な工業教育を目指し、「会津版デュアルシステム」の構築を図るべく、同窓会・PTAの皆様のご支援・ご指導を賜りながら、これらの事業終了後も生徒の進路実現の有効な要素となるべく、事業展開を継続していきたく考えております。皆様の力により一層の光り輝く人材として、社会に貢献できる卒業生に育成していきたく思っております。一日一日の地道な取り組みと結果が一人ひとりの成果として積み重ねられ内容の充実した大きな財産になると思います。生徒一人ひとりの努力により内部を磨き上げ、周囲の皆様方を中心とした人たちにより外部を磨き上げていただければ、内部から本物の輝く光を放出できる人材になると思います。工業高校に関係する人間として、ものづくりは人づくりといわれるように、ものづくりをとおした心づくりが出来る工業教育の展開を求め努力

していきたく思っております。

現在学校で取り組んでいる各種事業に対し、同窓生諸氏をはじめ地域企業の方々の積極的な対応と丁寧な指導ならびに教材等の御支援を賜り心より感謝しております。この支援・指導を大切に、より光輝く人材育成に向けた取り組みを継続展開し社会で活躍されている諸先輩の大きなエネルギーをいただき、生徒・教職員共によりいっそうの輝きを増し、同窓生諸氏に追いつき追い越すことができる前途有為な卒業生を輩出できるよう学校全体で取り組んでまいります。

いま会津工業高等学校では、学校を挙げて様々な事業等に取り組む、学力の向上ならびに工業高校における技能・技術の向上、高度な資格取得を目指して挑戦しております。また、ものづくり教育をとおして心の育成を図り、特別活動(部活動など)をとおして体力(耐力も含む)の向上・精神の鍛錬など知・徳・体のバランスのとれた人材の育成を目指してまいります。

今年も多く多くの部活動が活躍し東北大会・全国大会と駒を進めています。各地での大会において応援する機会がございましたら先輩として後輩にエールを送っていただければ幸いです。

百十年を迎える歴史と伝統を築き上げられた同窓生のすばらしい情熱とパワーに心より敬服いたします。これからこのすばらしい伝統を支え、新しい会工の歴史を多く刻んでいきたく思います。

地域に愛され、地域に求められ、地域に認められる会津工業高校・会津工業高等学校を目指し、地域に密着した工業高校・生徒として産業・地域活性化等に積極的に貢献できるよう工業教育の充実を努めていきたく。これからも後輩の育成・母校発展のため同窓生の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

結びに、同窓生の皆様のご健勝とご多幸を祈念すると共に、同窓会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

2009職員人事

お世話になりました。

◎転出先	
白岩 格	教諭 退職
小関 栄助	教諭 退職
鹿目 稔	再任教諭 退職
菊田 則雄	実習教諭 退職
伊能 亮太	期待実習助手 退職
齋藤 四志男	時間講師 退職
菊池 文子	購買事務 退職
真壁 春美	教諭 退職
岩沢 蔵	教諭 退職
服部 良男	実習教諭 退職
遠藤 浩司	常勤講師 退職
渡邊 豊	常勤講師 退職
新田 神弥	時間講師 退職
斎藤 弓枝	主事 退職
吉田 和紀	主任学校司書 退職

◎転入者	
小林 憲司	教諭 喜多方東高等学校
田中 公雄	教諭 喜多方工業学校
鈴木 誠一郎	実習講師 福島工業高等学校
宮田 智史	教諭 新採用(郡山養護学校)
熊田 尚	教諭 新採用(郡山北工業高等学校)
大塚 秋典	実習助手 新採用(いわき海星高等学校)
岩橋 学	常勤講師 小高工業高等学校
小熊 身知	常勤講師
角田 昌章	常勤講師
東司 幸弘	時間講師
猪巻 一子	主査 会津農林事務所
厚海 仁志	副主事 平商業高等学校
真田 幸子	購買事務

平成20年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収支決算書
(自平成19年10月1日～平成20年9月30日現在)

収入総額	4,437,727円
支出総額	3,524,211円
差引残額	913,516円

◎収入の部

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
繰越金	1,191,091	1,191,091	0	前年度の繰越金
入会金	2,800,000	2,410,000	-390,000	新入生(241名×10,000円)
協力金	800,000	619,433	-180,567	会報2007協力金(683件分) サラト経費(788,450円)を除く
雑収入	28,909	217,203	188,294	名簿代 御札(梅津家より10万円) 他
合 計	4,820,000	4,437,727	-382,273	

◎支出の部

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
総会費	300,000	185,590	-114,410	総会関係経費
会議費	600,000	631,974	31,974	各支部総会時の御祝儀
旅 費	500,000	486,562	-13,438	各支部総会時の旅費
卒業記念費	100,000	189,000	89,000	(校歌・応援歌・会工賛歌)CD代
事業費	1,000,000	735,319	-264,681	広告代、各支部への助成
松江奨学会	100,000	107,000	7,000	松江賞(賞状、額代)
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	47,496	-2,504	香典、弔電、花環代
消耗品費	40,000	32,818	-7,182	フィルム、プリント代、他
印刷費	800,000	784,875	-15,125	会報印刷代(7000部)
通信費	250,000	223,577	-26,423	切手代、電話代、送料
基金・積立	500,000	0	-500,000	今年度は出来ず
予備費	480,000	0	-480,000	会費減になった事もあり
合 計	4,820,000	3,524,211	-1,295,789	

※収入総額4,437,727円－支出総額3,524,211円＝差引残額913,516円は次年度に繰り越し致します。

※監査報告について

平成20年10月3日 歳入簿・現金出納簿・

預金通帳および支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めましたので報告致します。

平成20年10月3日

監事 寺代 徳夫
監事 坂井 武典
監事 関 勇一

平成21年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収支予算書
(自平成20年10月1日～平成21年9月30日)

収入総額	4,000,000円
支出総額	4,000,000円
差引残額	0円

◎収入の部

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
繰越金	913,516	1,191,091	-277,575	前年度の繰越金
入会金	2,400,000	2,800,000	-400,000	新入生(240名×10,000円)
協力金	650,000	800,000	-150,000	会報2008の協力金
雑収入	36,484	28,909	7,575	
合 計	4,000,000	4,820,000	-820,000	

◎支出の部

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
総会費	250,000	300,000	-50,000	総会関係経費
会議費	600,000	600,000	0	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅 費	500,000	500,000	0	各支部総会時の旅費
卒業記念費	150,000	100,000	50,000	(校歌・応援歌・会工賛歌)CD代
事業費	950,000	1,000,000	-50,000	広告代、各支部、生徒会(全国大会等の助成)
松江奨学会	0	100,000	-100,000	
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
ものづくり人財育成支援	100,000	0	100,000	ゼミコンジャパン出展への支援
慶弔費	50,000	50,000	0	香典、弔電、花環代
消耗品費	40,000	40,000	0	フィルム、プリント代、事務用品
印刷費	800,000	800,000	0	ポスター、会報印刷代(7000部)
通信費	200,000	250,000	-50,000	切手代、電話代
事務費	160,000	0	160,000	コピー機リース料、他
基金・積立	0	500,000	-500,000	
予備費	100,000	480,000	-380,000	
合 計	4,000,000	4,820,000	-820,000	

(会工100年史補完版1)

会工同窓会の歴史のうち、特に5、戦後の混乱期を立ち上げる 新生会工同窓会7、8、9代の会長と当時の活動について

会工100年史編集委員
江花 光泰

平成20年9月15日発行の「会工同窓会報2008」(第33号)に掲載された「同窓会名簿・会報を発刊して」を見ました。あまりに誤字脱字や誤謬が多すぎる。中でも「②同窓会のあゆみ」(戦後・・・)から本会の7・8・9代の会長がまったく評価されていない。存在すら書かれていない会長も居られた。

誤りの根源

なぜこうなってしまったのか。この項の筆者の責任ではない。多くの資料から指摘しておきたい。

昭和40年11月発行の本校60周年記念誌に同窓会史「鶴のはばたきー同窓会のあゆみー」が掲載されて、終戦後の同窓会活動について「戦時末期は学校の授業も無いくらいだから同窓会活動も無い。戦後、極度の食糧不足、ヤミ市など一人ひとりが生きるが大変な時節である。この時期の同窓生、同窓会の尽力に触れることなく、いきなり「昭和28年の東京会工会の再建総会を、戦後の会工同窓会活動のスタート」と間違えてしまった。

このときの筆者同窓生は寮業関係に働き戦時中は朝鮮にも指導にも出られた方で、戦後に退職されてから東京会工会活動に参加したため、当時の本校を取り巻く状況について熟知されていない。知らないから書けなかったものと思われる。

この誤りはやむを得ないものとしても困ったことに、昭和46年10月発行の70周年記念誌に「鶴のはばたき・同窓会今昔」としてほぼ同文でこの誤りを継承し「・・・大東亜戦の不幸な事態で本会の活動を停止したばかりでなく同窓生も痛ましい犠牲者として悲しい終末を告げ、敗戦後の混乱と相俟って(同窓会は)有名無実の状態となった・・・余儀ないブランク期を脱したのは昭和28年であった」とそのまま追認してしまった。

このため昭和22・28年までの同窓会の歴史と会長・役員・会員の尽力が消えてしまった。どのような思いでこのように表現されたものなのだろうか。

このときの筆者は昭和21年7月に戦地から復員された本校の同窓生で、本校教員であり、昭和23年の同窓会役員一覧表で見られるように自らが戦後の困難期の同窓会理事でもあった方なのである。歴代役員の努力を消し去ることに心の痛みは無かったのか。大人の対応とも言えるのか。こういった誤りが容認された

のはなぜか。本校の50、60、70周年の諸事業に力を尽くしたこの時期の同窓会役員に遠慮されたものであったのだろうか。

同窓会の沿革が昭和29年本校発行の50周年の記念誌に記録されておれば直後のことであり誤ることは無かったのではないかと思われる。7代会長中川源三郎氏、8代田場川広喜氏のお2人の名が消え、9代秋山寛二氏もごく短期間に記載されていたりする。昭和一桁の頃から尽力された中川氏たちは機械科設立と6、000坪の会工グラウンド建設の原動力になった方たちである。戦後の自分自身が生きるのに精一杯の時期に努力した先輩たちを忘れることはできない。

60周年の記念誌に端を発し70、80、90、100周年の記念誌と同窓会名簿などに誤ったまま引き継がれ、危なくこの誤りが固定化してしまうところであった。「会工100年史」では正しく記載されている。

幸いにして大正6年から昭和15年までの東京福工会の幹事長も務め、後に顧問で、次の10代目の代表を引き受けた吉川省氏、染織科第4期生(明治44年卒業)の文章が「会工会誌創立五十周年記念号」(会工同窓会昭和31年3月発行)にあり。「昭和20年10月、東京より若松に帰り、同窓会の動向を傍観すれば、その弱体にして活力に乏しく、会員の調査も不十分で、財政の面にありても貧弱且つ不合理なこともあって、之が強化は正の要を感じたが、之の感は私一人ではないと思っている。是は長期に亘る戦争の影響であり、人力の及ばなかった事でありませう。・・・」とこの期間の同窓会活動を述べ、自らも昭和23年の役員にその名を残している。東京会工会の「90年の歩み年表」では昭和23年2月に「東京会工会の再建運営」と「同窓会本部の河野(校長)排斥問題」や4月の「同窓会本部からの総会開催(案内)」と「出席出来ず」などが記録されている。5月には河野校長が上京して「母校の現況と同窓会運営」について懇談していることが記載され、この時期の同窓会活動が裏付けられている。東京での会工会運営は戦災直後であり、総会も役員選出もできず若松よりもさらに困難であったことも判明している。

昭和28年には「在京同窓会員が会工同窓会を批判」とする新聞報道や、東京会工会誌「磐梯」でも母校同窓会批判といった趣旨が読み取れる。他の資料にもこの時期の同窓会活動が多く見える。

続いて、日本経済の復調にあわせて同窓会も「全国に飛躍の体制」作りが進むが、この経過には忸怩たる思いも心の隅にあったのではないか。心の奥底までは触れられないが、平成16年発行の「会工100年史」を見ながら「会工同窓会の歴史が一部消えた」理由なども一緒に考えてほしい。

会工同窓会史の概略と「戦後の混乱期を立ち上げる新生会工同窓会」について触れておきたい。

会工同窓会史の概略

0、同窓生の誕生

明治35(1902)9

明治36(1903)10

明治37(1904)4・15

明治38(1905)3・27

明治39(1906)4・15

明治40(1907)3・25

明治41(1908)3・25

明治42(1909)3・25

明治43(1910)3・25

明治44(1911)3・25

明治45(1912)3・25

明治46(1913)3・25

明治47(1914)3・25

明治48(1915)3・25

明治49(1916)3・25

明治50(1917)3・25

明治51(1918)3・25

明治52(1919)3・25

明治53(1920)3・25

明治54(1921)3・25

明治55(1922)3・25

明治56(1923)3・25

明治57(1924)3・25

明治58(1925)3・25

明治59(1926)3・25

明治60(1927)3・25

3、学科増設・学校づくりの会工同窓会（昭和6〜16）

昭和6（1931）7 4代会長井口直次郎校長、副会長常木新藏先生、渡部先生、日野晴日子氏となる。同窓会費の在学中積み立て制度を実現する。

4、戦中戦争直後、活動停止の会工同窓会（昭和17〜21）

昭和18（1943）5・31 6代会長河野幸男校長となるが、同窓会機能はほぼ停止していた。

5、戦後の混乱期を立ち上げる新生会工同窓会（昭和22〜28）

昭和22（1947）7・13 7代会長中川源三郎氏、副会長秋山寛二氏、佐藤伝十氏 これより同窓生の会から公選となる。

昭和23（1948）4・25 8代会長田場川広喜氏、副会長佐藤伝十氏、二瓶正氏。

昭和24（1949）12・11 9代会長に秋山寛二氏を選出。翌年には戦後初の「同窓会会員名簿」を編纂刊行。28年には「若松会工会」を組織する。

6、全国に飛躍の会工同窓会体制確立（昭和29〜54）

昭和29（1954）5・22 10代として、新理事長に吉川省氏。

昭和33（1958）5・25 12代として理事会議長に新田義一氏を選任。

昭和49（1974）11 13代会長吉川省氏となる。

昭和51（1976）12 14代会長佐藤勝次氏となる。

7、会工同窓会本拠地に定着（昭和55〜平成14）

昭和55（1980）4・22 15代会長吉田一榮氏選任される。

平成15（2003）10 16代会長に梅津正夫氏を選任する。

平成20（2008）10 17代会長に手代木利夫氏を選任し、今に至っている。

戦後の混乱期を立ち上げる新生会工同窓会（昭和22〜28）

「会工100年史」第4編 第2章 4節「活躍する同窓会」の内584ページの「戦後の混乱期を立ち上げる新生会工同窓会」の活動と、7、8、9代の会工同窓会会長について、もう少し詳しく紹介しておきたい。

第二次大戦終戦後、昭和20年の日本は国民のすべてが食糧難

が、30年2月7日に逝去された。会津若松市旭町3-31に白清舎クリーニング店を経営したが、現在はお孫さん（中川淳）が継いでおられる。

次いで8代 田場川広喜氏について。

応用化学科第5期生（大正13年卒業）で早稲田大学法科出身の法学士、同窓会報17号によると高知地方裁判所判事などを勤め、戦後は千葉県市川市国府台3ノ375に住まいし、群馬県の前橋検察庁などに勤務し検事を務めている。のちに弁護士活動をしている。

昭和23年4月25日午後1時より同窓会春季総会が本校松江記念館階上に開催され、会則改正、役員改選、23年度予算、同事業計画が審議されている。新学制に伴う福島県立会津工業高等学校・福島県立会津第二高等学校同窓会と名称を修正した。また役員選出の選考委員を三輪亀七、田場川広喜、二瓶正、大原和一、田中清八、菊地巖の各氏が委嘱を受けて選挙の結果、会長に田場川広喜氏 副会長に二瓶正氏 佐藤伝十氏 理事長に佐藤保雄氏と理事に菊地巖氏ら20名、評議員は秋山寛二氏ら28名、監事に高畑恒雄氏ら3名総計55名の陣容を築き上げ、謄写版刷りの役員名簿には顧問に三輪亀七氏、大村九十九氏、中川源三郎氏と佐々木実校長を推薦しているので、この名簿は佐々木校長の赴任後に作られたものと思われる。

昭和二十三年度同窓会役員 会津工業高等学校 会津第二高等学校 同窓会

会長	田場川廣記	若松市	応大一二
副会長	佐藤 傳十	若松市	漆大10
顧問	二瓶 正	若松市	応大一一
顧問	佐々木 実	現会津工業会津第二高校長	
顧問	三輪 亀七	会津工業高等学校	応大一一
顧問	大村九十九	若松市	前副会長
理事長	佐藤 保雄	会津工業高等学校	漆昭三
理事	菊地 巖	会津工業高等学校	染大一一
理事	近藤 好美	会津工業高等学校	染大一一
理事	安西 正伍	会津工業高等学校	漆昭三
理事	古川 章	会津工業高等学校	漆昭一〇
理事	大竹 薫	会津工業高等学校	応昭三
理事	小林 三朗	会津工業高等学校	応昭六
理事	日下部敏男	会津第二高等学校	漆昭一〇
理事	貝沼 繁	会津工業高等学校	漆昭一六
理事	本名 洋	若松市	漆昭一八
理事	梅宮 貞雄	北会津郡川南村	漆昭一三
理事	角田 眞平	若松市	応昭七
理事	西村 忠	若松市	漆昭四
理事	加藤 孝	若松市	

をはじめ困窮のどん底にいた。この時期の本校については学校資料が皆無に近く、「会工100年史」第6章1、2節「戦中・戦後の本校」128〜132ページでは生徒であった同窓の方々や先生方からの寄稿文によって綴られている。戦時末期の本校でも学徒動員や通年動員で授業もなく、学校校舎の一部が扶桑〇〇部隊の兵舎となり、同時に学校自体が「日立製作所の学校工場」として佐世保の海軍電波探知器の製造にも携わっており染織科などは戦時中不要と廃科されて紡績機械や染織器具が撤去され、また空襲に備えて校舎を壊し始めていたため、学舎に戻った生徒たちは「講堂を始め雨天体操場、剣道場、平屋の教室や実習室の床板ははがされ、壁は抜け落ち、雨漏りし」「窓枠には満足にガラスはなし」「校庭の2/3はイモ畑などにして東側1/3は田んぼに作り直してあった」現状に驚き、先生、生徒たちは学校そのものを再建復旧するのに大変な労苦を重ねた。中でも「真空管電圧計や窓ガラスなど頻発する学校盗難」「食糧を求めてのヤミ市」その時期に校長が「市長選挙に立候補して落選」や「実習場の賃貸料不明」などがあり当時の新聞に報道されている。

日本国憲法、教育基本法が制定されて本校を「高等工業学校」や「工業大学」に昇格と論議した。「若工（若松商業学校）の木村工芸科と建築科を本校に移管」しようというの予算160万円のうち7万円しかなく教室づくりには「会工・若工の生徒が18日間の街頭募金で25、849円」を集め、建築科の生徒による「製図室の自主建設」や新制高等学校制度に伴ない「会二高の独立運動と本郷分校の設立」や佐々木実校長が東北の代表として各県選出の国会議員に働きかけ、「産業教育振興法」が昭和26年に成立し翌年には高等学校には国庫補助が開始され、千天の慈雨と大きな足跡を残した激動の時代であった。

この時期、後援会を発展させて昭和23年7月19日に車の両輪と称される父母と教師の会（PTA）が結成され、初代会長に鈴木善九郎氏が就任した。一方同窓会では昭和22年7月13日に会工同窓会を開催し、会長に中川源三郎氏を選んでいる。

7代 中川源三郎氏について。

応用化学科第1期生（大正9年卒業）若松市中六日町47に住まいし、東京鋼材株式会社広田製鋼所に勤務した。会工同窓会には正来遊方会長時代の昭和4年から幹事として参画し、創立25周年事業にも携わっている。（同窓会報5）昭和11年6月4日同窓会は電気科新設とかねてからの懸案であった運動場拡張運動に取り組みをはじめ、代表者に中川源三郎氏がついている（同窓会報12）が、この運動は若松市や市議会を挙げての取り組みとなり、機械科の新設と広大な校庭へと松江春次氏、鈴木善九郎氏の義挙を生み出すことになる。

中川氏は終戦後、市内大和町に鋳物研究所を開いており本校機械科の鋳物工場を借用して「消毒洗面器受け台」を製作販売

長谷川源三郎	若松市	応昭四
内田豊之助	河沼郡柳津町	機昭一七
津田 祐作	若松市	漆昭一四
近藤 忠	若松市	二工昭三二
五十嵐正夫	若松市	応昭一三
山寺 昭吾	若松市	機昭一六
秋山 寛二	若松市	二工昭三二
大原 和一	若松市	応大一一
花摘 義夫	若松市	染大八
吉田 孝平	河沼郡堂島村	染明四五
吉川 省	若松市	染明四四
渡部 文	郡山市	漆明四四
佐々木徳蔵	若松市	漆明三六
平田誠五郎	若松市	漆明三三
岩沢 常司	若松市	漆大 四
岸 昇輔	大沼郡本郷町	漆大 四
猪瀬 喜義	若松市	漆明四三
斎藤 恒男	河沼郡日橋村	応大一一
佐竹 和夫	北会津郡川南村	漆大 一〇
渡部 倉三	若松市	漆大 八
小山 元	若松市	漆大 八
中村 近次	北会津郡川南村	漆大 八
鈴木 健治	大沼郡本郷町	漆大 八
鈴木 源一	耶麻郡磐梯村	漆大 八
遠藤勝太郎	耶麻郡磐梯村	漆大 八
林 平八郎	若松市	漆大 八
佐瀬 忠義	若松市	漆大 八
高畑喜代志	耶麻郡姥堂村	漆大 八
山内 福蔵	河沼郡日橋村	漆大 八
小沼 俊春	若松市	漆大 八
田中 清八	若松市	漆大 八
古川 忠夫	若松市	漆大 八
佐藤 文助	若松市	漆大 八
石原 喜義	北会津郡東山村	漆大 八
高畑 恒夫	会津工業高等学校	漆大 八
橋本 金男	若松市	漆大 八
渡部 健衛	若松市	漆大 八
中川源三郎	若松市	漆大 八

※住所は当時の市町村名のみ掲載
10月17日午後1時からとしたが1時50分から応接室に於いて役員会を開催となる。議題は「校長問題報告」で鋳物工場契約の件で、中川氏の「屋賃は機械（科）にある様子会計には入っていない」「新興化学パルプ工場賃は会計に1万円だけ預けその

していた。昭和22年4月30日から26年4月29日まで会津若松市議会議員をつとめている。

「会工100年史」584ページに写真掲載の「会津工業高等学校・会津第二高等学校同窓会記録」簿によるとこの時期に、同窓会々長を引き受けている。この同窓会記録簿原本は会議毎に（大竹）名の小判型朱印が押され、校内理事の大竹薫（漢文）先生のものと思われる。数度の同窓会役員会をへて、昭和22年、戦後初の同窓会総会を開催した。戦後の混乱期でもあり会員の住所、勤務先等不明であったために苦心しビラ、新聞広告、案内状などを送り98名（校外83名校内15名）が出席して、理事長佐藤伝十氏の開会の辞と河野幸男校長の会長挨拶で始まって最後と思える。副会長に秋山寛二氏、佐藤伝十氏、校外理事12名校内理事9名理事長に菊地巖氏を互選 評議員27名 監事3名を決定して、多くの人が食糧難にあえぐ中で同窓会活動を進めた。昭和22年度決算書では46、320円29銭 基本金25、599円47銭の収支が報告されている。

折しも教育基本法、学校教育法が公布されて8月10日の同窓会理事会ではそのまに「高等工業学校」「大学」昇格への期成会をはかり、座長に後援会会長の鈴木善九郎氏を推薦している。寄付金募集では700万円を計画した。9月には同窓会の席に小日山武若松市長、松崎助役、林健次郎、斎藤常三郎法学博士、海陽汽船元社長筒井清松氏らが集まり「工業大学創設期成準備会」を論議した。（会津魁新聞 昭和22・9・20）また、会報発行を計画し会員住所調べを各科理事の責任で実施とし会員の伝手、新聞広告も検討されている。（翌年2月1日の役員会で約300名が判明したと報告されている）11月1〜3日からの戦後初の会工祭に同窓生の絵画・工芸品陳列など多彩ならしむことも協議し、期間中に臨時総会を開いて規約改正を計り、特別会員・名誉会員の条項を削除している。役員会では学校経営上の社会風評についても協議している。

昭和23年2月1日会工同窓会臨時役員会で高校設置や若松工業学校の工業科を本校に移管する問題、併設中学卒業の同窓会入会の可否についてなど多くの問題を協議している。2月9日には校長退陣実行委員会を開いている。（この頃、河野校長は若松市長選挙に立候補し落選していることが新聞各紙に報道されている）卒業式を直前にして同窓会から永年勤続の母校教職員の表彰、校友会県下スキー大会優勝の慰問、永井篤行賞の授与、5カ年皆勤賞の授与をはかっている。3月23日の卒業式・表彰式に続いて同窓会新入会員歓迎会を開き、染織30名、漆工13名、窯業27名、工業化学32名の102名を迎えているが、新入会員を230名としており戦時中の卒業生も含めたものと思われる。4月1日学制改革により新制高校が発足し、福島県立会津工業高等学校となった。

中川会長は昭和26年4月30日から市議として2期目に入った

金は電通（電気通信科の意）の備品費に充てる」とされている。この会議は会長、両副会長、理事長、理事と傍聴者1名を含んで14名が出席している。裁判所判事やのちに検察庁検事となる同窓会々々長には抗しがたいものがあつたものか。10日後の27日には河野校長は岩手県立黒沢尻工業高等学校に転出し、11月2日同校から佐々木実校長が赴任された。田場川会長はこの時期、若松に帰っていたものと思われる。

9代 秋山（松本）寛二氏について。

会工同窓会には正木遊方会長時代の昭和4年から幹事として創立25周年事業にも携わっている。同窓会活動の充実強化を図った正木遊方会長の意向を汲み、大正期卒業の若い力を導入しているが、その一員である。昭和15年の校外理事6人の中に中川、秋山両氏ともに名を連ねている。昭和16年11月23日に創立35周年記念式典を開催、同時に同窓会臨時総会を開いている。このとき同窓会が「会工35年史」（B6版318ページ）を刊行したが、本校と同窓会の歴史を知る上で貴重な資料となっている。昭和24年12月11日の同窓会臨時総会で秋山氏が会長に選任されている。

応用化学科第3期生（大正11年卒業）本校醸造部に学び、母方の実家十六橋近くの旅館の養子となつたが、「名倉山酒造」の松本善六氏の次男で同社第一工場の工場長として家業と醸造業界の発展に尽くして、昭和31年に分家し行仁町4-1に翁島酒造・秋山酒店を立ち上げている。元陸軍中尉、市消防団の副団長、行仁小学校のPTA会長、中六日町町内会会長（昭和29年刊「会津紳士録」）など多くの要職を勤めている。

昭和25年10月15日戦後初の「会工高・会二高同窓会会員名簿」を発行 昭和27年10月1日の同窓会役員会では、野球部が秋季大会で優勝して東北大会に出場の為10、000円寄贈の件を協議している。昭和28年5月5日には若松会工会を設立し会長は佐藤新三郎氏となり、翌年、「若松会工会会員名簿」を発刊した。市内を12地区に区分し職域を5区分とし、会員は390名である。

こうした戦後の混乱期を経ながら「会工100年史」585ページの「地域・職域あげて飛躍の会工同窓会体制」（昭和29・54）へと進んでいった。平成16年10月16日の会工同窓会総会時の記念講演「会工100年史編纂にかかわって」で「会工200年史から梅津会長の名が消えていたらどうする」の項目も設けて7・8・9代の会長についても報告したので記憶の方も多からうと思う。

副会長の栢森幸雄氏から中川、秋山両会長と、戦時中に同窓会会長を務められた大村九十九氏（同窓会名簿に記載なし）は馬場町3-20の歯科医師であることについても「教示をいただいた。厚く御礼を申し上げます。」

鶴雲飛翔

郡山会工会 活動報告

事務局 津田 進
(昭29 K卒)

昨年と同じ企画をしたが、参加者が四人だったこと、天気予報がよくなかったことで中止にしたが、今年は雨の中でも実行してよかった。

座はますます盛り上がりつてきたが、この場で解散となりみんな思いのコースで帰途に着いた。

去る5月16日(土)午後5時より郡山市大町1-3-13「三松会館」において、21年度の定期総会が開催された。その概要を報告する。

■20年度会務報告

■定期総会の開催5月17日(日)

三松会館・出席者17

▼第五回ボーリング大会・6月21日(日)午後1時、郡山ミナミボール

▼役員会の開催

7月・3月(年2回)

▼他の支部(本部を含む) 総会に出席

■会計決算報告(20年度)

▼収入184,481

▼支出169,755

残14,726円繰越

■21年度事業計画

▼総会・役員会3回・ボーリング大会・懇親会・会工高同窓会定期総会・東京会工会総会

■21年度会計予算(案)

▼収入209,726

▼支出209,726

■会則一部改定について、事務局一名を二名に改訂する。

■21年度定期総会出席者に関する資料

科別・卒業年度別

繊維Ⅱ S 18・32・38

工芸Ⅱ S 38

窯業Ⅱ S 16・29



渡月橋をバックに



渡月橋の上流で下船し、近くの料亭「嵯峨野」で、有名な湯豆腐料理を頂く。

船下りで少々冷えた体に、温かい湯豆腐の料理と熱燗、これはもう堪らない。体の芯からじんじんと、お酒も入り体が温まってくる

と、会津の弁士たちが、賑やかに座を盛り上げる。

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

REPORT & MESSAGE

福島会工会

幹事 星 秀明
(昭40 E卒)

平成二十年度の総会を去る三月十四日福島市内のホテルにて開催しました。総会開催の前、十六時から十七時三十分まで、「窯変天目茶碗の制作を通じたスペシャルスト育成への挑戦」と題して、母校セラミック化学科佐藤正道先生による講演会を開催しました。

この講演会開催の企画は、昨年十月の本部役員会で本公演を聴講した当会の星武会長が感銘し、後輩達の活躍とそれをサポートする先生方の指導ぶりを、当会員にも是非紹介したいとの強い意向から実現したものです。

当日は本部からご多忙のところ手代木会長、渡邊学校長、真田事務局長、佐藤事務局長次郎のご出席をいただき、そのうえ、講演会に必要な機材、資料などすべてご持参頂きました。深謝。

聴講者は約二十名。佐藤先生のパワーポイントによる説明と資料とに目と耳を集中させていました。特に全校・全科を挙げての取り組みは企業での問題解決手法、つまり皆で考え、勉強し、不明な部分は専門家の指導を戴くなどしてすばらしい技術開発を成し得た経過は実社会でも即通用するもので、指導された先生、それに応える後

下方に川下りの船が見えるカメラスポットでは、速度を緩めたり、停車してくれたりサービスのしてくる。

紅葉は、丁度見頃で電車の両側を、走り抜ける赤や黄色の紅葉が美しい。

亀岡駅から船乗り場まではバスで移動し、乗船までの待ち時間に昼食を食べたり、船の中の食べ物や飲み物を買って飲む。この頃はもう雨も止んでいたが、船頭さんの話では水高が少ないので船足が遅いという。通常は一時間半位のところ、今日は二時間近くもかかって、何だか得をした気分になる。

船頭さんの名調子のガイドを聞きながら、のんびりと買い込んだビールを飲んだり、おにぎりを食べたりしていると、急流にはまっただきな飛沫が降りかかってくる。急いで合羽を被って洋服は助かるが、合羽からの滴で足元がびしょ濡れになる。

兩岸の紅葉がきれいに色付いている。時折岸辺に猿や鴨たちが出てくる。のどかな船旅であつた。

渡月橋の上流で下船し、近くの料亭「嵯峨野」で、有名な湯豆腐料理を頂く。

船下りで少々冷えた体に、温かい湯豆腐の料理と熱燗、これはもう堪らない。体の芯からじんじんと、お酒も入り体が温まってくる

と、会津の弁士たちが、賑やかに座を盛り上げる。

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

十一月十六日(日)京都はいくどしや降りの天気となつてしまつたが、今日は近畿会工会としては、二年越しの行事「保津川下りの日」である。八時二十分京都駅から直ぐ近くの「新都ホテル」に、参加者6名が集まつた。

京都駅から嵯峨嵐山駅まで行き、ここからトロッコ電車に乗って亀岡まで行く。嵯峨嵐山では、雨にも拘らず大変な混雑である。予定のトロッコ電車まで、約一時間ほどの時間があるので、雨の中を遠い昔、修学旅行で懐かしい渡月橋まで散策した。さすがに京都の観光スポット「渡月橋」大勢の観光客である。

トロッコ電車は紅葉の見所や、

激を味わいつつ、又卒業生同士の先輩、後輩の深い付き合い、共に会津魂で貫き通す精神、働く場所は刈谷と会津と違つていても、会工会の卒業生同士の「強い絆」とも言うのでしょうか。頑張れ健男児！有限会社野々村建設の発展と野々村誠氏のこれからの健康を祈ります。

我が母校会津工業高校の卒業生同士の絆の一ページでした。

近畿会工会
保津川下りを楽しむ

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)



佐藤正道先生の講演

坂下会工会

会長 大堀 順一
(昭27 C卒)

昨年の総会は設立して三十年と記念になる節目の年だったので母校より渡邊校長・本部同窓会から手代木会長・湯川会工会より二名・地区OB会会長等の来賓出席のもと盛大に行いました。また、講演は松江春次翁のかたりべ会を会津若松市在住の菅野栄子様を講師に招き語っていただきました。

さらに記念の校章入りの手ぬぐいを安藤染店の協力のもと作成し披露しました。また、設立にあたってご尽力・ご功績のあった前会長・江川二正様(26 E)、前々会長

の佐藤正利様(24 L)の両名に感謝状を贈呈いたしました。

この他の活動としては、母校の地区新入生に対し地区PTA総会時に記念品を贈呈。また、坂下五校による親善ゴルフ大会を開催し継続しています。

尚、今年の三十一回定期総会は九月二日に「わたや」において開催を予定しております。

大堀会長の慰労会

猪苗代会工会

庶務 小檜山 勲
(昭49 A卒)

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

猪苗代会工会総会は平成二十年十一月十日、猪苗代駅前新生旅館で開催され、同窓会員ら十六名が出席し、平成十九年度の事業報告、決算報告平成二十年事業計画や予算案が審議され、役員改選が行

至誠勤労

電友会

第二沼沢発電所・柳津西山熱発電所を見学して

会長 西村一夫 (昭31E卒)

電友会では、毎年会員の親睦を深め見聞を広めることを目的に施設見学会や史跡巡りなどを計画している。

今年は、わが国屈指の水力電源地帯に立地している異色の発電所である標記の発電所をセットで見学することにした。

5月22日好天に恵まれ東北電力会津技術センターに集合し水系・発電・変電・電力系統を一元監視運用している制御所の制御室まで入れていただく予定であったが新型インフルエンザ騒動で直前に入室出来ないことになり別室で概要の説明を受け早速に現地に向かうことになった。

沼沢発電所は昭和27年11月に完成した当時東洋一の揚水発電所で周囲8Km深さ90mの沼沢湖を上に池に宮下ダムを下池として豊水期に揚水し渇水期に発電する季節調節用の発電所であった。昭和29年の会工祭にパノラマを作成展示したことを懐かしく思い出した。

第二沼沢発電所は山の中を掘削し作られており送電用の変圧器が道路わきにわずかに見えるだけで出力が46万kwに増強されており発電方式も日中のピーク時に発電し深夜等のオフピーク時に揚水することで、発電所の役割も変わった、停止状態からフル稼働ま

今後とも、皆様のご支援を宜しくお願い致します。



挨拶する横山嘉夫会長



会津美里会工会の設立総会

建友会

会長 小山源昭 (昭38A卒)

建友会の総会は、毎年東山温泉での開催が習わしとなっています。本校同窓会をのびのびの会員の参加と



2009建友会総会

会津美里会工会

庶務 荒井誠一 (昭49A卒)

会津工業高校PTA会長在任中の平成十九年九月、梅津正夫同窓会会長を始めとした幹部の方々から会津美里町に同窓会支部を設立して欲しいという要請を受けました。

早速、昭和二十六年三月機械科卒業で高田在住の横山嘉夫氏を訪ね設立準備会を立ち上げるため会長への就任をお願いしましたが、他の役職も退いたのでと辞退したいと言われました。その後改めて梅津会長・手代木利夫副会長・若狭春生幹事長と共に訪問し、再度

就任をお願いしました。横山氏は私共の是非にどのくらい頼りに、「母校のためになるなら」と引き受けて頂きました。

創立百周年に作られた同窓会名簿には、会津美里町在住の人数は約千名強となっており、編集出版会社を確認したところ紙台帳しかないとのこと、同窓会からの援助を賜り、パソコン用の住所録を整備しました。

さらに町内各地域の同窓生の方々の参加を頂き、平成二十年八月一日に十一名で設立準備会を立ち上げ、設立総会開催のための会議を数回開きました。名簿上は約千名強おられますが、中には亡くなられた方や軽居された方なども掲載されており実態の把握が出来ていないこと、ゼロからの出発で資金も無く、全員に通知することは不可能との実情をどう打開するか悩んでいました。結論として、総会開催は手作りのポスターを町内に掲示することで周知とし、参加要請は原則知り合いの同窓生に声をかけることとしました。

平成二十年十月四日、梅津正夫同窓会会長を始めご来賓の皆様方のご臨席のもと、大勢の参加者を得て開催し、横山嘉夫会長とした役員体制も決定し、会津美里会工会が出発できました。平成二十一年度は、事業として八月下旬に講演会を予定しています。また会員拡大も図っていく計画です。

REPORT&MESSAGE

美修会

会長 白井 充 (昭42L卒)

出席のもと懇親会が行われました。また、四月十七日午後四時より鶴ヶ城本丸にて、多数出席のもとお花見が行われたことを合わせて御報告申し上げます。

職員OB会 会工元氣会

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年10月を目安に開催しています。平成20年10月16日サンパレス会津で開催。

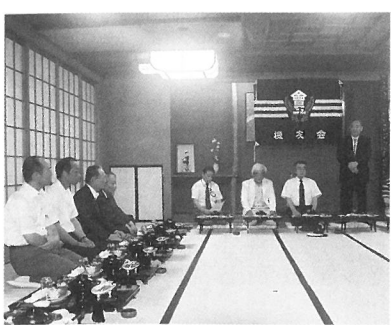


定期総会 (サンパレス会津にて)

機友会

会長 栗城和夫 (昭41M卒)

会津工業高機械科で組織されている機友会の総会は、さる7月4日(土)会津若松市内の割烹「米熊」にて開催しました。



懇親会

約10人が出席し、栗城和夫会長あいさつの後、昨年度の事業が報告されました。親睦会の開催、会員の増強、激励金の贈呈など今年度の事業を決めました。総会後、渡邊秀雄学校長、手代木利夫同窓会長ら来賓を交えて懇親会を開きました。



2009機友会総会

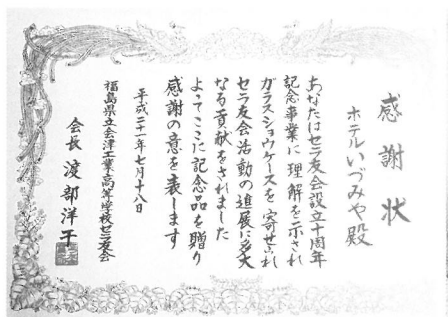
セラ友会

事務局長 梨子本傑 (昭41K卒)

会津工高の窯業科・セラミック科の同窓生らでつくるセラ友会(渡部洋子会長)は十八日、会津若松市のホテルいづみやで総会を開き、来年7月に設立十周年記念総会を開催することなどを決めた。議事では今年度の事業計画として本



2009セラ友会定期総会



ホテルいづみやに感謝状贈呈



2009美修会総会

平成二十一年三月三十一日午後六時より、ホテル「いづみや」にて第五回総会を開き、前年度の事業報告及び会計報告を行い、役員改選が行われ、全員が再任されました。

その後、事務局より事業計画が発表され、満場一致で採択され、無事総会を終了し、手代木会長及び渡邊校長先生他、多数の来賓ご

一意専心

日立会工会

副会長 江川 仁

(昭28 E卒)
平成二十年の日立会工会総会は、平成二十年十二月六日(土)に開催しました。

今回の開催にあたっては、母校の事務局へご案内を差し上げましたところ、遠路かつ、ご多用のところを渡邊秀雄校長、手代木利夫同窓会長、真田郁夫同窓会事務局長のご出席を頂きました。

また、多賀、那珂、および日立電線の各地区からの出席を頂き、総勢三十五名での楽しい語らいの総会を開催することが出来ました。渡邊校長からは、最近の母校の様子、教育方針など、特に、スー

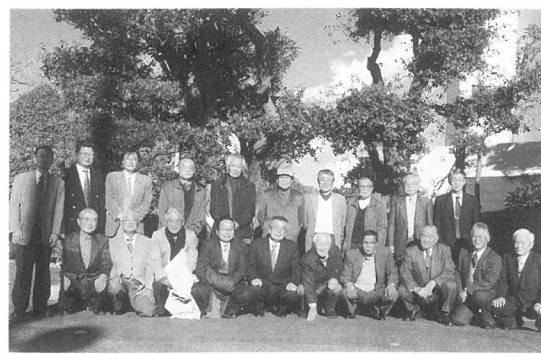


日立会工会総会
平成20年12月6日 於日立市東 晩 館

パー専門校を目指した「スペシャリスト育成への挑戦」、地方企業・自治体と直結した「会津ものづくり人財育成事業」への取り組みなど、最近の頼もしい母校の様子をお伺いすることが出来ました。

手代木同窓会長よりは、全国各地で活躍している各地同窓会の活動状況をお伺いし、同時に、手代木同窓会長とは昭和二十八年卒で同期の小生はじめ数名の同期生とともに、むかし懐かしい語らいが出来ました。

会長長老の中村康男顧問からは、日立工場での太平洋戦争の体験談や、含蓄深い後輩への言葉を頂き、先輩方々の偉大さを改めて感じさせられた次第です。一方、定年退職会員が多数を占



めるなか、現役会員の出席者からは、将来を担う若者らしく、元氣瀧刺とした希望溢れる声があり、総会には、なお一層の盛り上がりとなりました。

渡邊校長、手代木同窓会長、真田同窓会事務局局長を囲んだ楽しいひとときのフィナーレは、全員が肩を組み、大きな輪になって、校歌・応援歌の大合唱となり、次回の元氣な再開を祈念しながらの散会となりました。

改めて、渡邊校長、手代木同窓会長、真田同窓会事務局局長および参加された会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

昭和電工 東長原会工会 近況報告

支部長 本名健一

(昭44 G卒)

会津工業高等学校同窓会の皆様には、これまで色々お世話になっております。

昭和電工(株)会社東長原支部の会工同窓会は、今年4月20日に、新高卒3名の歓迎会を兼ね定例総会を割烹富士にて開催しました。

今年は、役員の総改選が行われ、支部長、副支部長、幹事が新しいメンバーとなり、これから運営し

ていくことになりました。

又これまでの会員範囲を更に広げ、東長原地区で働く協力企業の同窓生への参加を募り、会員数59名となりました。

新しく会員になられた方、社会人として新たな人生の出発する3名の方を囲み、和やかな雰囲気の中、懇親会を行うことができました。

宴も盛り上がり、誰からともなく「校歌を歌おう」となり、参加者全員で歌い始めました。当初卒業40年以上の方もいる中、と思いましたが、なんの何の2番まで歌いきるではありませんか。更に「頑張ろう応援歌」まで歌いきり、みんなで喝采でした。

同じ学び舎を卒業した仲間、年の差はあっても母校を忘れず、同窓生という絆で結ばれていることを痛切に感じた瞬間でもありました。

これからの運営に、一人でも多くの会員が集える場を設けて、職場を離れ人と人との繋がりを大切にした会運営に努めていきたいと思ひます。

今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

三菱製鋼広田 製作所会工会

福島県立会津工業高等学校の皆様、ならびに同窓会委員の皆様

REPORT&MESSAGE

野球OB会

会長 室井勝巳

(昭30 A卒)

夏の高校野球県大会を前に、会津工高野球部OB会(室井勝巳会長)は6日、同校野球部に激励金20万円



渡辺校長に激励金を手渡し(右から) 丑木幹事長、室井会長

を贈った。激励金は、OB会が有志から募り、毎年贈っている。

室井会長、丑木孝吉幹事長が同校を訪れ、渡辺秀雄校長に手渡した。野球部の八巻監督が立ち会った。室井会長は「持てる力を出し切って、一戦一戦頑張っ

サッカーOB会

事務局 中島和一

(昭50 K卒)

会工サッカー部全国大会出場の夢はいつか?

江本城幸先生を迎え会工サッカー部は、夢をかなえるべく日々練習にはげんでいると思います。OB会ではいつも「今年はどうだ」「全国にいくのか」毎年8月15日会

工グラウンドでOB会が開催され現部員とOBの試合があります。試合に先立ち部長より今年の試合結果の報告がありOBはその話に夢中になります。でも全国大会出場と言うことは、聞かれません。

会工サッカー部が創部して来年で50周年になります。昭和35年4月28日第1回定例生徒会総会において「サッカー部新設」の議案が審議されました。発起者の3年機械科田中敏三先輩より創設理由の説明があり、新設が可決成立した経緯があります。当時の会工新聞の一説に「我々が勝つ事が出来なかつたとしても必ずや後代において良い結果をうむであろうことを確信しております」OB達がなしえなかつた夢を勝たせていただき

たい。50周年という節目の年に、OB会の親睦会を開催するのはもちろんですが、会工サッカー部全国大会出場がなによりです。OB会一

バレーボールOB会

会長 大越一郎

(昭35 E卒)

会津工業高校バレーボールOB会の近況ならびに活動状況についてご報告致します。

平成20年1月にバレーボールOB会の創立50周年の記念行事を開催しました。

日頃は地元においても仕事の都合や各地で活躍している会員同士、なかなか顔を合わせる機会が難しい状況でしたが母校はじめ関係各位、多くの先輩方、仲間、後輩の皆様を支えられ、盛大に開催できました。幾多の困難を乗り越えてきたと築いてきた伝統と歴史の重さをしみじみとかみ締めています。

また、OB会の先駆者でもあり、多大な貢献をして頂いた梅津正夫先輩が平成20年7月に急逝され、OB一同は大変つらく悲しい一年でもありましたがこの苦境を乗り越え、会員が丸となったOB会を発展させていく事がお返しのできであると考えております。

近年はOB会と保護者会の皆様と一体になって在校生の活躍を期待し各種大会の応援、支援を重点に活動しております。

昨年の県総体では地元、会津での開催となり宿敵相馬高校戦において大接戦の末、負けはしたものの一つひとつのプレーに手に汗を握り、選手、監督そしてOB会、保護者一体となった試合で共に大きな感動で胸を熱くした大会でした。

また、OB会の組織強化の一環として若返りを図ろうと10代、20代との繋がりを強化するため、平成17年度よりOB会チームを復活結成し、社会人大会への参加や在校生への指導協力など、50代層からの幹部への起用各年代層に幹事を設けて切れ目のない組織の再編強化を図りました。今後ともより一層OB会組織が機能し発展するよう頑張っていきたいと考えております。

今年の春の大会は難敵を倒し3位になる嬉しいニュースが届き、胸が大きく膨らみました。悲願でもある県大会の優勝(全国大会出場)を目指し、熱意のあふれる指導に当たっておられる監督はじめ学校関係者に敬意を表しますと共に日々厳しい練習に明け暮れている在校生への惜しみない支援活動を継続していくためOB会を盛り上げていきたいと思っております。最後に会工高同窓会の益々のご発展をご祈念致します。

以上
(会工高バレーボール部OB会 事務局 早川茂二) 参考

吹奏楽OB会

会長 小俣弘行

(昭47 T卒)

先ずは、同窓会の皆様方には、日ごろより、物心両面から多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会津工業高等学校吹奏楽部OB会は、初代卒業生坂内誠志氏をOB会長として昭和50年に発足し、年1回の合同演奏会など音楽活動を通じて積極的に会員相互の親睦、及び在校生の支援、協力、交流に努めることを目的として組織され、運営活動をして現在に至っております。

特にOB会といっても工業高校特有のことであろうかと思いますが、毎年卒業するOB OG達が県外を中心に相当数就職で会津にない為、卒業年度の繋がりが途絶えて、所在が不明となるのが悩みであります。最近では特に20代30代が厳しい雇用ならびに経済状況の中、一番公私とも忙しい時期と重なり、参加できないでいるのが現状であるようです。

本OB会は、出来る限り役員として運営できる人的な育成に全力

おかれましたは、ますますご活躍のことと思われま

さてこの度「同窓会会報二〇〇九」の発刊ということで我が製作所の会工会の活動内容についてご報告致します。

現在、会工会の会員数は十七名で、幅広い年齢層から成り立っています。活動内容としては、新年会や花見、旅行や忘年会等様々な行事を行っています。特に旅行は毎年計画しており、昨年は岩手方面へ一泊二日で実施し大変盛り上がりました。会工会の中では一番大きな行事で、楽しみにしている一つでもあります。

以上の様な行事を行いながら、会工会は日々活動しています。こういった活動ができるのも、歴史ある会津工業の「会工魂」を持つメンバーが集まっているからこそであり、会工会の誇りでもあります。ですから、私達はこれからもこの会工会を受け継いでいきたいと考えています。

さて話は変わりますが、近年の経済不況は大変厳しく、特に就職活動を迎えている生徒のみならず、は大変苦勞していると思ひますが、しっかりと目標を持って諦めず頑張ってください。

最後に、県立会津工業高等学校の益々の発展と、関係各位の今後のご隆盛を祈念致しまして、会工会の活動報告とさせていただきます。

○平成21年度役員構成
会長 大越一郎 (35 E)
副会長 穴澤福一 (42 L)
大谷一吉 (47 M)
池上二郎 (50 F)
早川茂二 (51 E)
事務局長 石橋利章 (52 C)
庶務、会計 成田 良 (35 E)
会計監査

一生懸命

乾坤秀靈

を上げているところであります。前述に記したような自由から予算的にも厳しい状況でOB会運営も難しく、これもまた悩むところでありました。

このような経過の中、第1回定期演奏会の開催から現在まで、ステージのプロデュース、音響照明等、また、コンクール各種大会他の楽器運搬、部員へのアドバイス等と可能な限りの協力を各役員、近年卒業のOB OG等の力を得ながら積極的に活動をしております。最後に同窓会の皆様に対しご理解いただきたいと思っております。時、会津工業の生徒に対し厳しい次期もありましたが、幾多の困難を乗り越え、学校行事として位置づけ、定期演奏会を開催、輝かしい伝統を築き、音楽を通じて人間形成、会津工業高校のイメージアップに相当貢献しているとOB会としても自負しているところでありまして、工業の生徒は他校にはない自己研鑽する能力があり、基本的には真面目で、素直で、優しさがある素晴らしい生徒であります。

日々の厳しい練習を見ているとOB会として何かやらなくてはと常に思慮している訳であります。同窓会の皆様も素晴らしい輝かしい伝統を築き上げている吹奏楽部に対し、改めて絶大なる協力と育成をお願いしたいと思っております。

OB会も、多様化している社会情勢に適合した組織運営の新たな構築を図るよう、自助努力しているところですが、ホームページの開設等準備を進めております。

までクラスの会計を任していた人が出てきたら、学級費が余っているはずだ、どうしたのと攻めるのです。自分はいつもパン食べてしまい会計に納めてくれよと毎朝のように催促されていた。ことが頭に残っていたので、本当にみんな腹をこらえて笑いました。

巨漢で元気な人が自分から「俺は、打つ病、ですこの病は死ななければ治らないと思っています」と告白しました。あの巨漢から全く考えられない「鬱病」と紛らわしい言い方をしたので一瞬吹き出すのをこらえました。競馬、競輪なんでも打つていけば幸せだそうで、奥さんに叱られても止められそうです。そして彼の「打つ病」の話は、彼の大きな人から聞か、聞くほうが楽しく聞けるから不思議です。皆勤賞の高校時代美術部について皆が年賀状のすばらしい版画を楽しみにしています話題「みんながよこすからしょうがない」などといっていました。

すので、今後も宜しくご指導賜りたいと存じております。また、来年平成22年度は30周年記念定期演奏会を盛大に開催したいと思っておりますので同窓生の皆様のご協力をいただければ、大変有難く思っております。尚、是非一度、定期演奏会に講義洋サウンドを聴きにお出で頂き、感動を味わっていただきたいと思っております。

クラス会

M30機友会

稲玉光治郎（昭30卒）恒例の親睦会を東山温泉・H玉屋で開催。六回目的「年男」（丑年）が大いに氣勢を上げたが、寄る年波には逆らえず12名の参加。DVD「M30のあゆみ」発刊!! 昭和30年春、戦後10年目のどん底。就職難の中、紅顔可憐な18・19歳。柳行李と布団袋を背負って会津の地を旅立ったものの、地元に残ったもの。



親睦会（ホテル玉屋にて）

35年卒建築科クラス会

一年に一度の楽しみ

五十嵐昭夫（昭35A卒）我々のクラス会は一年に溜まったストレスを洗い流し、やる気を起こされてくれます。居る時間が短かすぎないように感じられるなかで、お腹がよじれるほど大笑いし心身とも癒されている。

会工高46電子会

福王寺 一元（昭47D卒）

会工高46電子会は、昭和46年度電子科卒業生の同級会組織です。平成18年に室井利夫（東京在住）の声かけにより、30数年ぶりに会を復活させました。会の事業としては、下記の内容を行っています。①原則隔年開催で同級会を企画する。②投稿可能なホームページを作成し、情報交換をおこなう。http://s46den-shi.jp/infoseek.co.jp/top.html ③各地域で随時分会をおこない、ホームページ上で内容紹介を行う。幹事は、下記4名です。

- 会長 室井利夫（東京在住）
- 幹事 影山良智（会津若松市在住）
- 幹事 皆川 譲（会津若松市在住）
- 幹事 福王寺 一元（会津美里町在住）
- 会員 43名（男子42名 女子1名）
- 45名クラス中これまでに2名が逝去
- 先生 田辺精治先生
- 住所録については、皆川譲（会津若松市在住）が卒業以後、毎年全員との賀状やりとりをしていたことから、容易に整理することができました。現在では、全員の連絡先が判明しています。
- 平成20年10月18日開催の「会津工業高校46電子会」復活第2回同級会の様子について
- 平成18年11月に開催した復活第1回同級会では、26名（25名＋先生）が集まったことがあり、復活第2回同級会では、前回以上の人数参加を目標として連絡・勧誘をおこないました。

結果としては、21名（先生も含み）の参加人数でした。○参加者への記念品として、オリジナルのワインを作製・配布しました。ワインの製造については、元会津工業高電気科の本田 毅先生が経営されているワイン工房あいづ（猪苗代町）に依頼しました。（ラベルは自前で作製しました。添付資料参照ください。）○東山温泉原産での同級会の前に、有志によりメロウウッドゴルフクラブ（磐梯町）にてゴルフ（参加者5名）を楽しみました。○東山温泉原産での同級会の前記の次第により進行了ました。①会長挨拶（室井利夫）②先生から（田辺精治先生）③乾杯（橋本秀吉）④記念演奏フルート演奏（皆川譲）⑤各人の近況報告⑥お聞き

△所感▽一人ひとりの人生にドラマがあり、各人の近況報告には、それぞれの味がありました。「会津」に生まれ育ったことをほこりに思い、なつかしく当事のことが語ることのできる同級会の開催は、今後も継続性をもって企画していくことで、皆が一致したところでした。いろいろと書きましたが、旧友との再会とはとても一言では、語りつくせるものではありません。会報を製作されるにあたり、上記の内容の一部分でもご活用いただければ、幸甚に存じます。宜しくお願い致します。本会の住所録については、同窓会へ開示すべきか否かを、同級会の中で協議いたしました。個人情報取扱いの観点から、同窓会とのコンタクトにつきましても、幹事が窓口になって連絡をとることとし、本会では各人の連絡先については開示しないことの結論になりましたので、あしからずご了承ください。以上宜しくお願い申し上げます。



年もやって下さいいよ、いやもう忘れてしまったよ）又村越先生は教師になる前、西松建設に勤務の経験があり建築施工の科目に西松建設を例に教えていただきました。今年は大変でした。西松建設の裏金を出してくれ、それで今年のホテル代は決まりだとヨッパツ奴が攻めていました。先生はニコニコ笑っているだけ。自分も押し寄せてきているのかな「人間は諸悪の根源である欲を捨てなければ成らない」などと悟りを開いたようなことを真面目に話すがこの人も変わったと感心されていましたが「みんな欲を捨てて俺に今日は一人5千円お布施だぜ、そうしたらみんなが死んだら極楽に行けるように拝んでやる」とやるものだからみんなに高校時代から変わっていないなとさんざんでした。工業高校の教師で毎年入試時期にあたり都合つきませんでした。近年常連です。

根性一途

REPORT&MESSAGE



福島民報提供

最優秀賞を一点受賞

室井 重年 (昭52C卒)

会津若松の障害学習センター愛称の再優秀作に「會津稽古堂」が選ばれた。また、会津若松市の「夜の鶴ヶ城フォトコンテスト2008」の最優秀賞にも選ばれた。作品はライトアップされた若松栄町教会を題材とした、月光とライトが洋風建築を照らし、闇夜に鮮やかに浮かび上がった様子を撮影したものである。

総理大臣賞受賞

大越 春喜 (昭49E卒)

会津工高出身者
総理大臣賞受賞
古河電工製品部長
会津工高出身で古河電気工業情報通信カンパニーファイナル製品部長の大越春喜氏は「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」でこのほど、第七回産学官連携功労者表彰内閣総理大臣賞を受賞した。

東北大電気通信研究所の中沢正隆教授、NTT未来ネットワーク研究所の秋本和男所長との共同受賞で、京都市の国立京都国際会館で開催された産学官連携推進会議の席上、表彰された。

EDFAは大容量・高速・長距離光通信システムを、安易・安価で実現する基本技術。

福島民報提供

県教委の教育・文化表彰

佐藤 正道 (昭59C卒)



県教委は、平成20年度教育・文化関係表彰で優秀教職員として表彰された。その功績内容は「曜変天目茶碗」の再現、全国初のろくろ技能検定の創設である。

猪苗代に多額寄付 褒賞伝達

福島民報提供 遠藤 昭二 (昭55M卒)

猪苗代町の「野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金(ふるさと納税制度)」を活用し同町に八百万円を寄付した千葉県千葉市、会社経営遠藤昭二さん(四七)猪苗代町出身が紺綬褒章を受章し十二日、猪苗代町役場で伝達式が行われた。

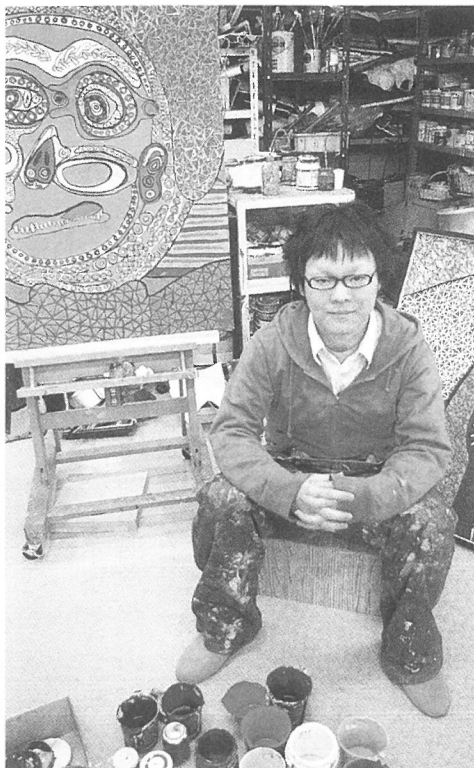


章は四月二十五日付。伝達式では塚原啓史県会津地方振興局企画商工部長が遠藤さんに褒章などを手渡し「今後も猪苗代町や本県の発展のため協力願いたい」と謝意を示した。遠藤さんは今年度も同制度で町へ一千万円を寄付。伝達式終了後に津金要雄町長へ目録を手渡した。遠藤さんは「今後も古里のために頑張っていきたい」と述べた。

二紀展連続入選

高橋 克幸 (平21F卒)

『会津のピカソ』と話題 感情 絵や陶芸で



全国からプロの画家も出品する二紀展に3年連続で入選した。高校生では初の快挙。大胆な構図と鮮やかな色づかいの抽象画から、地元・福島県会津若松市の愛好家らに「会津のピカソ」と呼ばれている。絵に目覚めたのはわずか3年前。完全な独学だ。教科書の隅に描いた落書きが看板店を営む祖父の目にとまり、会津地方の展覧会への出品を勧められた。看板用のベニヤ板でキヤンパスを作ってもらい、初めて描いたのが「恋人を亡くした女性に、ごちゃごちゃにからみつく過去の思い出」のイメージ。作品は、いきなり受賞。以来、誘われるまま県展、二紀展へと活躍の場を広げてきた。

我が家の庭

小川 彰一 (昭15C卒)

北海道に移り住んでから、五十年余僻地の教員生活を典型的な「デモ」先生で過ごし、今はあの有名な阿寒湖のある阿寒町に、絵の講師みたいな事をしながら過ごしている当年八十六歳の会工の卒業生である。

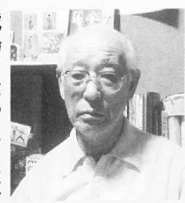
我が家も私と同じで築四十年余り。牧草地の真ん中に建てたので、庭はそのまま刈り込んで芝生にしている。今は家の廻りに花や木等を植えてようやく庭らしくなって、私も庭いじりをして楽しんでる。気がむけば芝刈りをする約三十分間、モアーを押してぐるぐる庭を巡る、これが私の健康法の一つになっているようだ。芝と云えば三十年ばかり転々と学校を移ってきたのだが、行く先々で芝生を作ってきた。その数四校余り、どうしてこんなに芝生にこだわるのだらう。ふと思いつくのが昭和十年会工入学当時、深く印象に残っているのが生徒玄関前の芝生である。そう広くもない庭であったが、思えば見とれてしまふほどの美しさだった。縁取りの玉、桧葉も整然と並び、芝草は美事に刈り揃えられていた。本当に私にとってはホッと一息の時であった。どなたが手入れをしていたのやら、考えてみればあの軍国主義真っ盛りの頃、よくこんな口マンチックな庭を造れたものである。



戦場になったとは、私の記憶は、本土からの就学命令で帰国する際、解(はしけ)から本船に乗り移る一枚の板の上から足下の大海原を見た恐怖の想いが未だ脳裡から離れないこと。微かな子供の頃の記憶が平和と激戦のギャップの妄想をたくましくする。

サイパンとの交換生 交流の実現を期待

水野 銀蔵 (昭20K卒)



夏川リミの「なだそう」を聞くとき、子どもの頃のサイパンが懐かしく(おぼろげ)乍ら想い出される。唄に聞くあの平和な情景が忌まわしい最悪の戦場になったとは、私の記憶は、本土からの就学命令で帰国する際、解(はしけ)から本船に乗り移る一枚の板の上から足下の大海原を見た恐怖の想いが未だ脳裡から離れないこと。微かな子供の頃の記憶が平和と激戦のギャップの妄想をたくましくする。

歴史のマチ会津から傑出した偉人があまた輩出しているが、医聖野口英世と机を並べた仲の実業家松江春次も海外雄飛して名を挙げた一人。南洋興発で製糖事業を進展させ「南洋の父」と慕われた彼は会津工業学校の将来性を慮(おもんばか)り巨額の寄贈をして同校発展の礎とした。以後松江氏と会津工業の絆は親密度を増し「松江賞」の創設となりサイパンとの交換生派遣の計画が生れた。過日来会の松江社長の孫である佐伯氏と同窓会などの会合で骨子が固まりつつある。混沌たる現代に於て優秀な人事交流を図ることは国家百年の大計として国際視野の観点から是非実現させたい企画と思う。「南興」の系列会社「南洋水産」の社長、長尾辰男氏は松江社長の懐刀、夫人は父の妹である。

母校との絆

菅野 宗和 (昭25M卒)



り私の伯母であるが、其の余慶(良い評判)を慕って会津から大拳サイパンに渡った人とが戦後荒廃した日本の建て直しに尽力したと云ってても過言ではないだろう。因果は巡り松江社長から受けた恩恵を会工校から「教育」で報恩との話題が出るのも宜なるかなである。是非「会津とサイパン」ひいては南方雄飛を支援するくらいの心意気を会津から発したいものである。

※解II陸と停泊船を結ぶ小舟



会工百十余年の歴史のなかで、昭和二十五年年度の卒業生は学校に六年間も在籍した。これは戦後の学制改革で旧制度から新制度への移行の時期に遭

米寿に思う

入学のあの頃 鈴木 忠三 (昭26K卒)

喜寿を過ぎ、間もなく米寿に手の届くこの頃に学生の頃を思うと、今でも胸が熱くなりま

母校だより

「故郷、そして 学舎を想う心に接して」



教頭 若菜 靖彦

私にとって今年のテレビ番組の注目はNHKの大河ドラマ「天地人」である。主人公の直江兼統にとって我が会津はゆかりの地であった。利を捨て義を重んずるその生き方に共感しつつ欠かさずこの番組を観させてもらっている。

さて、本校を卒業された同窓生の皆様方の中にはその故郷「会津」を遠く跡にし、熱き志を持たれて日本各地で活躍された方が多くおられます。

今年の6月に開催されました東海会工会、東京会工会、近畿会工会に

は、生憎出張で都合の付かなかった校長の代行として、手代木会長と若狭幹事長とともに出席し、学校の近況報告をさせていただきました。ここでは3つの地区で会員の皆様方とお会いし、ふれ合った中で感じた一端を記録に留めたいと思います。出席された方々の多くは昭和三十年代卒でありました。皆さんはまさに工業立国日本を支えてこられた方々であり、工業教育に携わる者として心より敬服いたします。

これまでの本校の卒業生の多くは、先輩諸氏のその礎があつてこそ仕事に就けたのだと実感しております。

各地の総会では久しぶりに、皆さんで旧交を温めておられました。私も人生経験が長く、当然初めてお会いする方々ばかりでしたが、時空を超え会津工業高等学校の校歌・応援歌を唱う「時間」を共有させていただき、感動する覚えました。

学校では、同窓生の皆様方や地域の暖かいご支援もあり、生徒達も文武両道、それぞれの目標に励んでいる毎日で、目に見える成果も現れています。

今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

進路指導部から

大塚 正幸



全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年度の進路状況としては二百七十七名の卒業生の内、2/3が就職（このうち県内・県外がほぼ半数ずつ）、1/3が進学（このうち大学・専門学校がほぼ半数ずつ）という結果でした。就職については、求人数も千二百九十六社とこの数年で一番の数となり、さらに「会津ものづくり人財育成事業」の効果もあり、地元就職も増え、就職者の数が例年よりも多い年となりました。ただし、昨年の十月以降ご存じのように世界的な不況により早期に決まらなかった生徒については、苦戦したというのが現状でした。そんな状況でも多くの同窓生の皆様が各企業で活躍されているという実績と本校の教育活動にご理解をいただいている各企業より、内定をいただき三月卒業時にはほぼ百%（二名未定）となり、五月中に全ての生徒の就職が決まり百%達成となりました。



平成21年度進路指導部職員

また、最近ある企業の方から伺った話で、全国の企業内研修会に参加した際に、本校生がここ数年成績が上位であるということを知り、これもまた「ものづくり教育」を推進している本校としては、とてもうれしく、これからもより一層努力していきたいと感じております。

最後に、今年度も生徒全員の希望進路の実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも会工同窓生の皆様の変わらぬご支援の程、よろしくお願い致します。

平成二十一年度 入学生の近況報告

1学年主任 村田 光夫

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多々ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成二十一年度新入生も皆様で各科目とも一倍を超え、優秀な生徒が多数入学してきました。一学期もそろそろ終わりに近づいてきましたが、特別指導を受ける生徒が誰一人としていない大変落ち着いた日頃の生活を送っています。

ここで、科と担任の先生方をご紹介します。まず建築インテリア科（A・男子二三名、女子一七名）は相良晴美先生で、社会科担当です。次にセラミック化学科（C・男子二四名、女子一六名）は私こと村田です。次に機械科二組（M一・男子四〇名）は鈴木慎也先生で体育科です。二組（M二・男子四〇名）は丹治一記先生で、機械科の専門を担当しています。次に電気科（E・男子四〇名）は金澤直人先生で、電気科の専門を担当しています。最後に情報技術科（I・男子三二名、女子八名）は鈴木敬介先生で、理科担当です。以上簡単に担任の先生方を紹介しました。中でも鈴木慎也先生・金澤直人先生・鈴木敬介先生の三名は、新採用から二・三年目であり、担任を持つのが初めてで、そういった意味でもフレッシュな学年と言えます。

一クラス四十名×七クラスでスタートを切りましたが、誰一人と欠けることなく全員進級、全員卒業、そして全員希望進路実現を目標に頑張っていくしたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

危機感を持って

2学年主任 清水 裕二

昨年の金融危機から始まった世界同時不況により日本の景気も後退を余儀なくされました。日本経済を牽引してきた自動車・電気産業をはじめ、それに付随するあらゆる業種で不況が深刻化し、派遣労働者・パートなどの非正規労働者の多くが解雇され社会問題にもなりました。自宅待機や就業時間の短縮などその波は正規労働者にも及んでいます。

2学年もそういった経済状況の中で1年後に進路を迎えることになります。われわれ担任も今までの進路活動のままで通用しないという切迫した危機感をもっています。その危機感は、生徒たちの中にも保護者の中にも広がっています。そこでどのようにこの不況に立ち向かっていくかを考えたときに、こういう時こそ基本に立ち返り、高校で身につける

ハードルを越えて

3学年主任 鈴木美枝子

進路決定の時期を迎え、3学年の生徒たちは大きな岐路に立っています。加えて、昨年から急激に全世界に押し寄せた不況の波は、生徒たちにもさらなる試験を与えています。

昨年度と比較し求人数は激減する見込みで、県内求人数については約4分の1と予想されます。つまり、昨年度の県内就職者は89名です。今年度は22名程度しか県内には残らないこととなります。そのため、地元での就職を希望していた生徒もやむを得ず、県外へと流れ、県内・県外共に競争が激しくなるでしょう。また、就職から進学へと方向転換しつつある生徒も少なくありません。進学先に関しても、自分の興味・関心のある分野だけでなくこの状況の中で社会に必要とされる知識・技術・資格は何かを模索しながら志望校を絞り込んでいるところです。

べき事柄をしつかり身につけさせることが大事だという結論になりました。具体的には、

- ①欠席・遅刻・早退をしない
- ②授業を中心とする学習に力を入れる
- ③基礎学力を上げる
- ④3年間部活動をする
- ⑤できるだけ多くの資格を取得する
- ⑥コミュニケーション能力を向上させる

ということとです。これは、企業の採用担当者が望む高校生像になります。この不況の中、企業は生き残りをかけて本当に必要と思われる有能な人材を探ろうとします。採用のハードルを上げ、それをクリアできる生徒だけを採用するというスタンスです。それに対処すべく2学年では朝自習や帰りの数十分を活用して、漢字練習や就職ドリルの学習など基礎学力の習慣化に取り組んでいます。まだ1年間あるではなく、もう1年間しかないという気持ちで生徒と一緒に頑張っていきたいと思っています。

こうした動きに伴い、進学倍率も上昇するものと考えられます。こうした現状を踏まえ、生徒たちは例年よりもかなり早い時期から進路閲覧室に頻りに足を運んでいます。就職希望者は何冊ものファイルに綴じられた前年度の求人票に目を通し、各企業の業務内容や雇用条件、採用試験内容等の研究を続けています。進学希望者は、進路閲覧室だけでなく、校外での進学相談会や各大学等でのオープンキャンパスに積極的に参加しています。また、職員も進路指導部からの声かけにより、授業の合間を縫って、例年にも増して数多くの企業を訪問しているところとです。

将来への希望と不安を抱えながら、目前に迫っている定期考査や検定試験に向けて、生徒たちは全力を尽くし頑張っています。部活動でもこれまでに培ってきた力を発揮し好成績をあげています。彼らが進路実現というハードルを越えて、晴れやかな表情で卒業式を迎えることができるよう、支えて行かねばなりません。同窓生の皆様方のご理解・ご協力を賜れば幸いです。

経産省・文科省指定研究事業 「会津ものづくり人財育成事業」の活動

地域連携推進部長 石崎 晃

平成十九年度に採択された実践研究しております「会津ものづくり人財育成事業」も、いよいよ完成年度となりました。昨年度は、同窓会より支援をいただき、生徒達の活動が円滑に進みましたこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

昨年十二月に幕張メッセで行われました「セミコン・ジャパン」本事業展示ブースにも、本校OBが多数来場し激励をいただきました。今年は、会工開発のアイデア工具を商品として出展予定です。

次に現在の活動内容をご報告します。「会津版デュアルシステム」という新しい科目が開講され、二学年十三名が「地元産業を担うエンジニア」を目指した体験的学習が展開されています。また、企業でも重要視されている特許について、福島県知的所有権センターアドバイザー鈴木優氏の指導のもと「パテント教育」を開講し、全国パテントコンテストへ応募する予定です。昨年度同様、各種インターンシップや地元企業技術者における技術指導など計画しております。これらの様子は、本校HPの「地域連携推進部だより」などをご覧いただければ幸いです。（生徒達の生き生きとした活動を見ることが出来ます）

さて、同窓会の皆様へご協力をお願いがあります。本校の生徒育成のためには同窓会の方々が経営されている会社や勤め先で、インターンシップなどの受入や技術者の派遣協力いただければ幸いです。詳細についてお知りになりたい方は、できるだけ訪問し説明したいと思っておりますので、ご一報ください。現在、色々と大変な状況下と存じ上げますがご協力よろしく申し上げます。

最後に、来る十二月十六日（水）には、風雅堂にて三力年間の研究内容を生徒達と発表します。是非、ご参会いただけますようお願い申し上げます。



松江賞



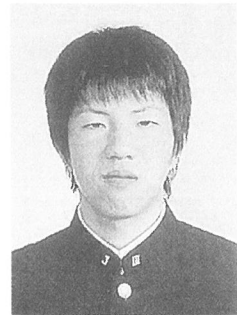
化学工学科
伊東 航



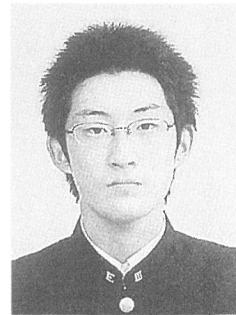
セラミック科
佐々木美穂



建築インテリア科
牧野 孝康



情報技術科
瀧沢 修平



電気科
赤井 充

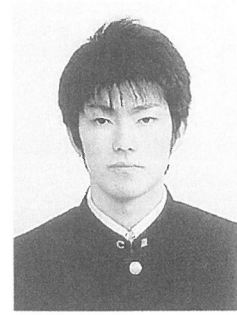


機械科2組
鈴木 大平



機械科1組
坂内 伸隆

同窓会賞



化学工学科
和田 佑貴



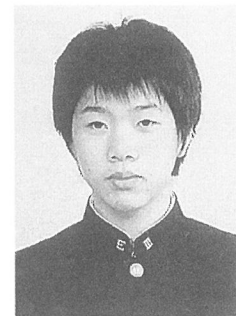
セラミック科
藤田 梓



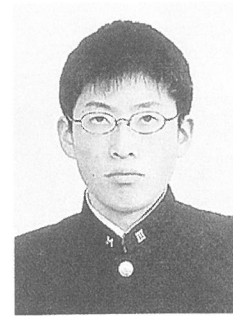
建築インテリア科
齋藤 愛



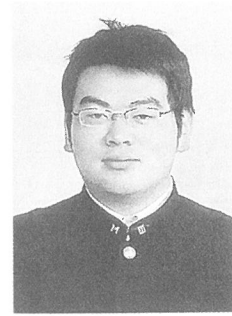
情報技術科
佐々木 健



電気科
坂内 悠二



機械科2組
岩沢 賢吾

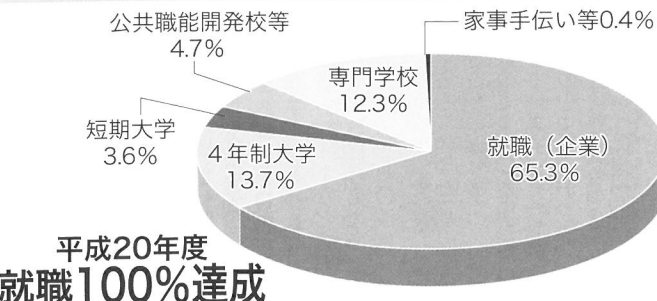


機械科1組
鹿又 淳

同窓会賞・表彰規定
○受賞者は、教科外活動・生徒会活動・学業等において顕著な実績を残し、生活行動が立派であるものを対象とする。
○受賞者の選考は、本校表彰委員会にて選考し、学校長が決定し同窓会運営委員会に報告されたものとする。
○賞状および記念品については運営委員会が定める。
○授与者は、同窓会長名とする。賞状及び副賞を贈呈しこれを表彰する。
○授賞式は学校表彰式時におこない、年一回年次に与える。

松江賞・表彰規定
○校内表彰規定の⑤の他団体よりの表彰で特別賞とする。
○授賞者松江奨学会から。賞状および記念品については同窓会より3万円程度助成する。
○平成17年度の卒業生より該当。
○授与式は生徒表彰式時に行なう。
○受賞者は各科・各クラス1名として学業、教科外活動、生徒会活動等において他の模範である。
○受賞者の選考は学校長に一任する。

平成20年度 求人件数 1296件



卒業生の主な進路

主な進学先

国公立大学

会津大学

私立大学

日本大学、工芸院大学、昭和音楽大学、仙台大学、神奈川工科大学、神奈川大学、城西国際大学、東海大学、東京電機大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学、東北文化学園大学、常磐大学、明海大学、ものづくり大学

公立短大

会津短期大学部

私立短大

福島学院短期大学部、郡山女子大学短期大学部、昭和音楽大学短期大学部、川口短期大学、佐野短期大学

公共職能開発大学校等

福島県立会津高等技術専門校、福島県立テクノアカデミー郡山、関頭職業能力開発大学校

主な就職先

県内

会津オリンパス(株)、三菱伸銅(株)若松製作所、本田金属技術(株)喜多方工場、(株)アトム・(株)会津タムラ製作所、曙ブレーキ福島製造(株)、アルテマイスター(有)、オンセミコンダクターテクノロジ(株)、クロイドン(株)喜多方製造所、昭和電工(株)東長原事業所、Spancion Japan(株)、(株)東風、フードサービスニナー(有)、福島電気工業(株)、松本機械工業(株)、(株)彌満和プレジション会津工場、ルーベィ工業(株)、あいづ農業協同組合、JAあいづ猪苗代農機自動車(株)、会津碍子(株)、会津光明(株)、会津電力工事(株)、曉精機(株)、AGCエレクトロニクス(株)、大崎工業(株)、(有)和構造設計事務所、(株)日本金型工業、山王東北工場、(株)ニクメタル(株)会津工場、栗城林業(有)、(株)小松製作所郡山事業所、(株)山東北工場、(株)山王東北第二工場、昭和電工(株)喜多方事業所、JUKI会津工場、住友ゴム工業(株)白河工場、(株)住田光学ガラス、曹鉄メタル(株)、第一通信工業(株)会津工場、太陽日酸エッジニアリング(株)会津機器製作所、中央ケミカル(株)東長原工場、長治観光(株)ホテルリステル猪苗代、東京電力(株)福島第一原子力発電所、東北シール工業(株)、東北ヤマキ電気(株)、東北リズム(株)、日曹金属化学(株)会津工場、日東ユメックス(株)、日本電産コバル(株)郡山技術開発センター、(株)ハーテック会津事業所、(株)坂下マイクロエレクトロニクス工業、(株)福島セコニック、(株)不二コントロールズ、(株)マコト精機、(株)メカテック、(株)目黒工業商會、(株)メディカルサプライジャパン、(株)ヤマト光学、(株)弓田建設、渡邊工務店、元気寿司(株)

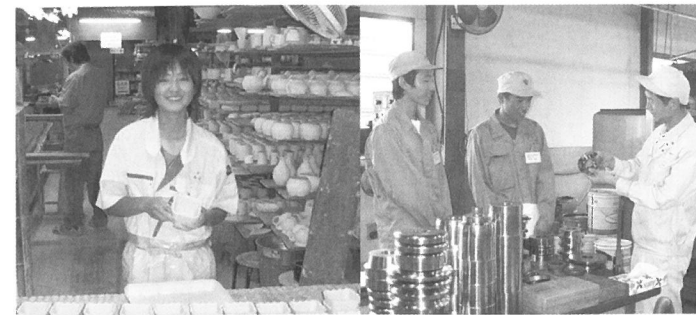
県外

新日本石油精製(株)川崎事業所、東芝三菱電機産業システム(株)、東北電力(株)、新潟原動機(株)太田工場、東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝浜川崎工場、ABCシステム(株)、ANA FESTA(株)、HOYA(株)オブティクス事業部、JFEスチール(株)東日本製鉄所、旭硝子(株)鹿島工場、旭硝子(株)相模工場、旭硝子(株)千葉工場、いすゞ自動車(株)、出光興産(株)千葉製油所、(株)一光関東事業所、エス・イー・シーエレベーター(株)、小田急電鉄(株)、紀伊産業(株)鴨宮工場、キャノン電子(株)、国際興業観光バス(株)、昭和電工(株)川崎事業所、住友化学(株)千葉工場、西武鉄道(株)、曾田香料(株)、曾田香料(株)郡山工場、住友林業ホームエンジニアリング(株)北日本事業部、大同特殊鋼(株)、瀧川化学工業(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)(東京メトロ)、東京電力(株)埼玉支店、東京電力(株)栃木支店、東京ヤサカ観光バス(株)、東芝ITサービス(株)、東芝エレベーター(株)東京支社、東芝マテリアル(株)、東北発電工業(株)、東洋ガラス(株)千葉工場、東洋佐々木ガラス(株)千葉工場、トヨタ自動車(株)、那須電機鉄工(株)、那須電機鉄工(株)会津工場、ニチハマテックス(株)、日産自動車(株)、日東樹脂工業(株)、日本インター(株)、日本精工(株)藤沢工場、日本ファインセラミックス(株)、ハイウェイトールシステム(株)、富士石油(株)袖ヶ浦製油所、富士通(株)那須工場、富士電機リテイルシステムズ(株)埼玉工場、ボラスグループボラスハウジング協同組合、真島商事(株)、三井化学(株)袖ヶ浦センター、三菱電機ビルテクノサービス(株)東北支社、向井建設(株)、村山鋼材(株)、ヤマザキナビスコ(株)古河事業所、(株)ITM、(株)JPハイテック、(株)オハラ、(株)鹿島クレイスイート、(株)銀座コージーコーナー、(株)台和会津若松工場、(株)つば八、(株)東京朝日ビルド、(株)東芝横浜事業所、(株)トークス、(株)日立エンジニアリング・アンド・サービス、(株)日立産機システム中条事業所、(株)日立製作所日立事業所、(株)日野ヒューテック、(株)プリジストン栃木工場、(株)ユアテック、(株)淀川製鋼所市川工場

公務員

会津若松消防署、自衛隊一般曹候補生、自衛隊二等空士、自衛隊二等陸士

インターンシップ



1年生全員、2・3年生希望者

平成20年度 国家技能検定合格者

技能検定は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。技能検定は、確かな技能の証として各職場において高く評価されています。合格証書が交付され、技能士と称することができます。

- 2級技能検定建築大工「大工工事作業」1名
- 3級技能検定建築大工「大工工事作業」1名
- 3級技能検定機械加工「普通旋盤作業」4名
- 3級技能検定電気機器組立「シーケンス制御作業」4名
(シーケンス制御作業県内初高校生合格者)

難関資格・検定を突破

ジュニアマイスター顕彰

平成20年度
ゴールド2名 シルバー12名

各種国家資格や検定の取得を点数化し、全国工業高等学校長協会が30点以上にシルバーの称号、45点以上にゴールドの称号を授与するものです。

福島県高校生 ものづくりコンテスト2008

化学分析部門

第1位：長井ちか子「東北大会2009に出場」、第2位：佐藤夏来



佐藤夏来 長井ちか子

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

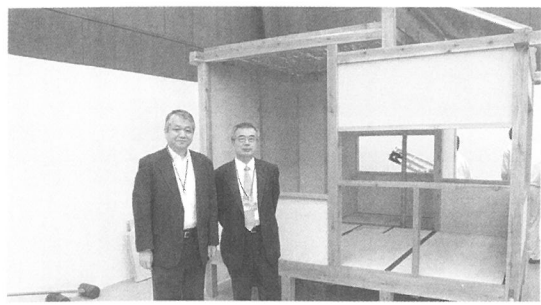


建築インテリア科

主任 池上 邦彦

経済の状況は厳しく建築インテリア科の生徒たちの進路も心配な平成21年度となりました。そんな中で建築インテリア科では、社会に通用する人材の育成を目標に、日々教育活動を行っています。

昨年度末の人事異動では小関栄助先生が定年ということでご退職されました。先生は繊維工業科、情報技術科、イン



テリア科、建築インテリア科と多くの科で教鞭を執られ、本校通算30年あまりの在職で、本校の生き字引ともいえる先生でした。我々もバックボーンが無くなった寂しさを感じています。また、2年間実習を担当して頂いた伊能亮太先生もご退職され、現在は民間企業で建築設計の仕事にたずさわっていらっしゃいます。変わらして、新採用教員として熊田尚先生、講師として同窓生でインテリア科出身の小熊身知先生が赴任されました。昨年度の生徒たちの活躍を挙げてみます。

2・3級技能士
建築大工作業 合格
デザイン甲子園 大川家具工業会理事長賞 受賞
会津ドームでのものづくり学園祭において茶室「隣閣」の再現
道都大学設計競技
日本大学建築設計競技
日本工業大学建築設計競技
高校生ものづくりコンテスト等々です。

また、生徒作品展は昨年初めて、神明通りのTUTAYA Aで行い、多くの方にご頂きました。厳しい経済状況の昨今ですが、様々な面で諸先輩方のご協力よりしくお願いいたします。



セラミック化学科

主任 佐藤 正道

セラミック化学科は全国に七校ありますが、セラミック化学科という名称の学科は、日本では本校だけです。地域に密着し、貢献する学科を目指しています。

化学の知識をベースに伝統工芸から新素材の分野まで幅広く学習します。地場産業のやきもの伝統技を受け継ぎながら、フライングセラミックス(絶縁体、半導体、超電導体、磁性体、生体材料など)・ガラス・化学製品全般の知識や技術を学びます。具体的には、茶碗、電子部品、人工宝石、色ガラス、リサイクル石けんなどを実際に作り、分析・評価する体験的な学習を行います。

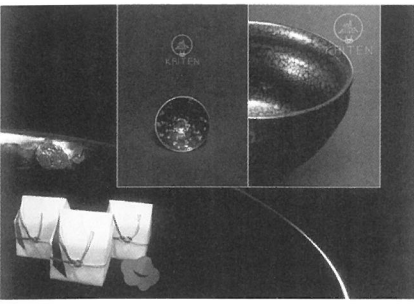
なお、科章CはCeramicとChemistryの頭文字から付けられたものです。●地域貢献
天目茶碗を用いた茶会、陶芸教室、ろくろ体験(出前講座)を毎年、会津若松市や会津美里町の商店街などで行っ

ています。地域の方々と交流を深めるとともに、地域の賑わい創出に寄与しています。昨年度は、会津美里町アートタウンにおいて、チームソング「友だち」を生徒・教員で作成し、学科のチームワークを強めました。町長からも褒めていただきました。あいづドームで行われた会津ブランドものづくりフェア・ものづくり学園祭でのろくろ体験コーナーには、二日間約四〇〇名の親子が参加し、大好評でした。その他にも、超電導実験や化学実験を行い、学科の学習内容を地域に発信することもできました。

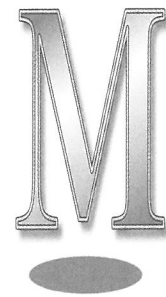
出前講座を通してものづくりの楽しさや素晴らしさを子どもたちに伝えていきます。●高大連携事業
本事業は、文科省「目指せスペシャリスト」事業で開発した会工曜変天目茶碗を会津大学短期大学部との高大連携を通して、地域ブランド化を目指すものです(会工茶碗を短大生がプロモーションします)。昨年度の成果物としては、ロゴマーク、ブランド名(SACMEZ)、ポスター、パッケージ、カタログなどが挙げられます(短大生が制作)。現在、SACMEZポスターとカタログは校長室に展示してあります。

商品化するには、コンセプト、デザイン、プロモーションなどがいかに重要であるかを学ぶことができた(製品ではなく商品を生み出すことの大切さと難しさなど)。来年度以降も、本事業を継続していく予定です。地場産業の活性化に寄与するものと思ひます。

●科の合言葉
科の合言葉は「挨拶・服装・掃除」です。この三つをきちんとすることは、人間性向上に繋がるものです。また、ものづくりの基本になるものでもあります。



「ものづくりを通してひとづくり(人格完成)」を肝に銘じ、将来の地域社会を担う専門的職業人の育成を実践しています。



機械科

主任 田中 公雄



平成二十年度末の人事異動により、再任用の鹿目稔先生がご退職されました。また、岩沢徹先生が喜多方工業高校へ転勤されました。替わって、小島工業高校より岩橋学先生と、喜多方工業高校から本校機械科主任の大任を仰せつかりました私こと田中公雄の二名が加わりました。何とぞよろしくお願い申し上げます。

一年一組の担任として体育科より鈴木慎也先生、二年二組の担任として数学科より今



化学工学科

主任 小野 一夫



平成二十年度より、化学工学科の募集停止とセラミック科が科名を変更し「セラミック化学科」となった。五年前に続いて工業の学科がまた一つ減ったわけである。

化学工学科の歴史は、大正六年に増設された応用化学科の流れを組み、昭和十八年に工業化学科に科名を変更し、昭和三十八年に化学工学科が新設され、昭和四十九年に工業化学科の募集停止以降は化学に関する学科として現在に至っている。

福島県は大学の進学率が低いという理由からどうかは定かでないが、少子化により高校が統廃合される中、国の基幹的産業である製造業の担い手を育成する工業高校の定員を削減する傾向があるように感じられる。また、平成十一年三月十九日に「ものづくり基盤技術振興基本法」が公布され、国がものづくりの重要性

野貴行先生、三年二組の担任として理科の篠原宏先生の三名の先生方の応援をも含めて、総勢十六名で指導にあたっています。

三年生の進路状況については、昨年度以降の金融危機を発端とした不景気により、七月上旬現在で昨年同期と比べ、県内(地元含む)が八割、県外が半数という厳しい求人傾向にあります。

求人件はひとまず置いて、この一年間機械科の生徒諸君は「ものづくり」の分野においても大活躍致しました。その素晴らしい健闘ぶりの一部を紹介致します。

(平成二十年度分以降)
○福島県ものづくりコンテスト旋盤作業部門、第三位。
○ものづくりコンテスト東北大会旋盤作業部門、第五位。
○福島県高校生ロボット競技大会に二台出場。

○ETロボコン2008北海道・東北地区大会に出場。
○全国電動カート創作コンテストに二台出場、総合二位。耐久レース賞に入賞。
○ホンダエコノパワー燃費競技全国大会に三台出場。
○マイコンカラーリレー県大会に二台参加。

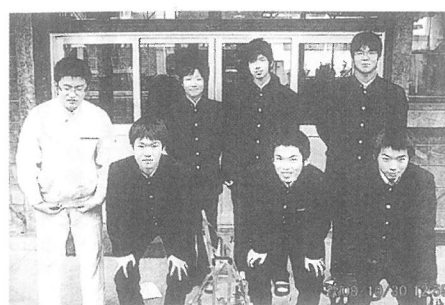
○セミコンジャパン2008に出展。
○ワールド・エコノ・ムーブ電気自動車二時間耐久レースに、燃料電池部門・鉛蓄電池部門へ出場。

いずれの大会においても、機械科の生徒たちは熱心にもものづくりに取り組み、素晴らしい成績を残しております。これからも生徒たちが、も



電気科

主任 海和 寛



のづくりを通して研鑽を積むことができるように環境を整備し、職員一丸となって指導してまいります。

●就職する人が増えています。進学は、四年制大学六名、専門学校(電気系)二名、専門学校一名です。

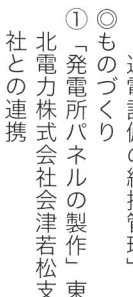
●発電所見学・工場見学
東北電力東新潟火力発電所・上田発電所・第二沼沢発電所・北芝電機(福島市)・日本工営パワーシステムズ(須賀川市)、オン・セミコンダクター・テクノロジ(喜多方市)

●外部講師
①東北電力会津若松支社「発電所見学事前学習」
②東芝浜川崎工場「ものづくりの現場」
③富士電機リールシステムズ「自動販売機の制御技術」
「企業人としての資質」
④東京電力「送電設備の維持管理」
●ものづくり
①「発電所パネルの製作」東北電力株式会社会津若松支社との連携
②会津若松市少年少女発明クラブ「ロボット製作」

春の人事異動により、菊田則雄先生が退職、渡邊豊先生が白河実業高校へ転勤されました。後任として、いわき海星高校から大塚秋典先生が加わり、電気科教員は六名です。また、電気科ホームルームに関わる普通教科教員は、二年担任清水裕二先生(社会科)、三年担任前田茂寛先生(英語科)です。

昨年の主な内容は次のとおりです。

●就職三十一名・進学九名
就職は、電力会社・発電会



情報技術科

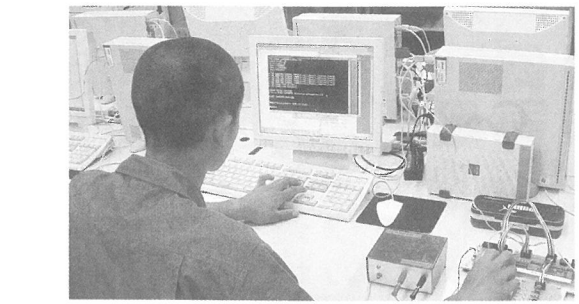
主任 真田 郁夫

情報技術科ではC言語を中心としたプログラミング学習と制御対象も生徒が自ら作る組込み技術を学習しています。また、平成二十年度はものづくり人財育成事業の一環としてデュアルシステム(企業研修)を取り入れました。参加生徒は三年生の二名です。

二人は、Javaプログラミングに取り組みたいと考えており、平成二十一年度より導入される選択科目「ものづくり実践」の試行として企業研修の機会が与えられました。



研修先となったのCielieはARM、Linux、Javaの組み合わせによる組込みに力を入れている企業で、おもに携帯コンテンツ、現在はiPhoneアプリケーションが中心のようです。



開発の対象としたのは、今年七月にドコモより発売されたGoogle Android携帯。発売に先駆けてアプリケーションを開発できれば、世界初Google Android携帯の女子高校生プログラマーとなります。

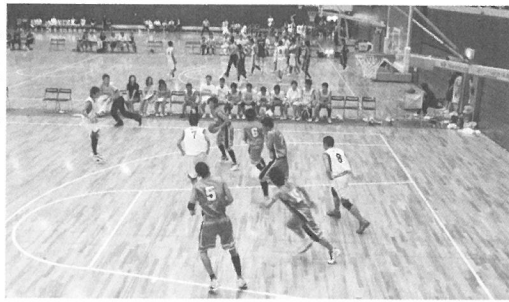
研修は週一回(四時間)では時間が足りず、六月には六十時間の集中セミナー(平日四時間、休日八時間)も受け、夏季休業中も企業に出動し、アプリケーションを五本作成しました。

研修を通してJavaプログラミングだけでなく、自分のアイデアを企画として通す苦労も学んだようです。

名で活動しております。春までは打力を前面に出して戦って参りました。現在は、守備力と機動力の確立に心血を注いでおります。夏は、春とは全く違うチームの姿をお見せできるものと思います。今後、同窓生の皆様に元氣な知らせを届けられるよう、自分から矢印を向け、泥臭く練習して参ります。今年度も、部員、顧問一同よろしくお願ひ致します。

バスケットボール部

顧問 ◎鈴木 慎也
岩橋 学



今年度のバスケットボール部は、三年生八名・二年生十名・一年生十五名・マネージャー三名の計三十六名で活動しています。

四月から新一年生も加わり、インターハイ県大会に向けて練習に励みました。五月九日

から行われた地区予選では、一戦一戦確実に勝ち上がり、決勝は若松商業戦でしたが、十七点差を付け、見事に五年ぶり十八回目の優勝を成し遂げました。

先日行われた県予選では、二戦を勝ち進み、ベスト四をかけて福島工業と戦いました。結果は、敗退し残念な結果に終わってしまいました。ただ、敗戦を通して得たものは大きく、次の大会まで時間はありませんが、この短い期間で、できることを確実に身につけて、もう一度県トップを目指して頑張っていきます。

バレー部

顧問 ◎渡部 麻美子
高橋 豊
村上 輝

私たちバレーボール部は男子8名、女子3名の新人部員を迎え、練習に励んでいます。

男子バレー部の目標は、県大会で優勝して、全国大会に出場することです。インターハイ地区予選では昨年に続き、連覇を果たすことが出来ました。福島県大会では、新人戦の雪辱を果たし、第3位という結果を残すことが出来ました。この結果を残すことが出来たのも諸先生方のご指導と応援して下さいました保護者会やOB会の皆様のおかげです。ありがとうございます。

次の県総体では、仲間を信じ、自分を信じて、一戦一戦全力で戦い、「優勝」を目指したいと思っています。

女子バレー部は、県大会出場を目標に練習に励んでいます。インターハイ地区予選では惜しくも県大会出場を逃してしまいました。県総体ではチーム一丸となり、一つでも多く勝ち進み県大会への切符を手に入れたいと思います。今後ともご声援宜しくお願いします。



山岳部

顧問 ◎熊田 尚
池上 邦彦
錦巢 幸江

4月の部編成により3年生3名と1年生1名の少人数でのスタートとなりましたが、元氣な野外活動を行っていたと考えています。

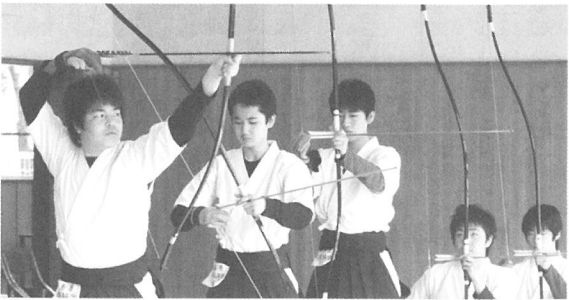
新人歓迎のキャンプ場泊が悪天候により学校内でのテント訓練になりました。おぼつかない手つきでテント設営や

食事作りをしました。はるさめ入りのすき焼きはかなりイケると感じました。また、南会津の山では、荷物を全部背負った山登りで苦しい思いをしました。下山後につかた温泉と宿舎での食事がありがたさを感じました。

登山活動を通じて会津の自然と毎日の食事の大切さを感じています。

弓道部

顧問 ◎渡邊 修
鈴木 敬介



弓道部は三年生五名、二年生八名、一年生二十三名、計三十六名です。女子部員が、二年生にそれぞれ一人ずつしかいませんが、頑張っていると思います。弓道部の活動場所は本校弓道場です。ゴミ捨て場の横にありますので、機

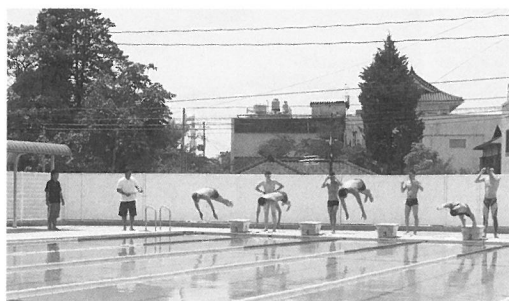
会があれば是非見学にいらしてください。武道の中でも際立つ、静寂の中の一閃をご覧になれると思います。活動時間は平日が七時半まで、土日は自主稽古も含め過ぎまで行っています。

今年度のインターハイ会津地区大会の団体戦では県大会出場権を得ることが出来たものの、個人戦では男女各一名が県大会に出場する権利を勝ち取ることが出来ました。その県大会では、決勝まで進めず、残念なものであったと思います。しかし、試合を経験した者、試合の応援に行き、県大会の緊張感を肌で感じた者が中心となって部の雰囲気は今よりよくなりました。引退した三年生が残していった気合いと誇りを胸に、弓道部はさらなる高みを目指して活動していきます。

水泳部

顧問 ◎前田 茂寛
長崎 敏秀

今年度の水泳部は、部員十名・マネージャー二名でスタートし、六月六、七日の二日間地区大会が行われました。その結果、団体では、数の力で会津高校に優勝を奪われ、昨年度に続き二位という結果でしたが、個人種目においては十九種目中五種目で一位を獲得し、二位六種目、三位三種目というまずまずの結果を出しました。団体種目においては、四百メートルメドレー



リレー一位、四百メートルフリーリレー一位、八百メートルフリーリレー一位と三つ全て一位を獲得することができました。

今後、六月二十七日から三日間郡山で行われる県大会に向けて練習や調整を行い、県大会では地区大会よりも良いタイムで泳ぎ、そして東北大会、全国大会に出場できるように部員一同頑張りますので、応援よろしくお願ひ申し上げます。

空手部

顧問 ◎村田 光夫
数間 一博

今年度は一年生二名、二年生六名、三年生四名で部活動をスタートさせました。今年も県大会で勝利することを目標に日々練習に取り組んでいます。去年は県大会で一勝もする

スキー部

顧問 ◎稲生 義則
小菅 勇
熊田 尚
中沼 淳
小沼 雄司
錦巢 幸江



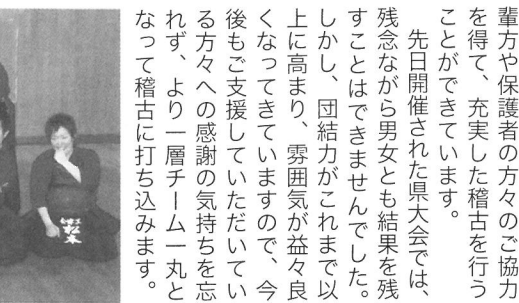
今年度のスキー部は3年生5名・2年生6名・1年生2名で活動しています。

冬場の大会期に向けて、日々練習に取り組んでいます。夏場の練習はとて大切なので、走り込みや筋力トレーニング、ローラースキーやローラボード、小田山周辺での坂道上下りなど、工夫を凝らしてスタミナアップを図っています。

今年度北海道で行われる全国高校大会や国民体育大会、他全国級大会で昨シーズン以上の成績を残すため、全力で頑張ります。

剣道部

顧問 ◎田中 哲
遠藤 宏行



本校剣道部は、田中哲先生・遠藤先生のご指導の下、日々練習に取り組んでいます。合宿や錬成会では、OBの先輩方や保護者の方々の協力を得て、充実した稽古を行うことができています。

先日開催された県大会では、残念ながら男女とも結果を残すことはできませんでした。しかし、団結力がこれまで以上に高まり、雰囲気も益々良くなってきたので、今後ともご支援していただいている方々への感謝の気持ちを忘れず、より一層チーム一丸となって稽古に打ち込みます。

バドミントン部

顧問 ◎今野 信孝
小熊 身知



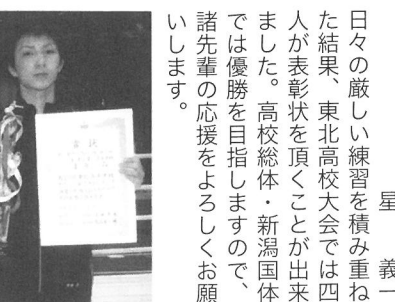
会津工業バドミントン部は創部が昭和二十年の伝統ある部活動です。戦績においても県大会過去十回と優勝し、東北・全国大会でも上位入賞を果たしたOBの方々がたくさんいると聞いています。

現在は総勢十八名で活動し、大会成績に関しては偉大な先輩方のまだ足元にも及びませんが、常勝軍団会津工業復活に向けて、部員一丸となって日々練習に励んでおります。

昨年十一月から常時使用していた北体育館が、改修工事ですら使用できない期間ありましたが、限られた場所や練習時間等を有効に活用し、

ボクシング部

顧問 ◎篠原 宏和
星 義一



日々の厳しい練習を積み重ねた結果、東北高校大会では四人が表彰状を頂くことが出来ました。高校総体・新潟国体では優勝を目指しますので、諸先輩の応援をよろしくお願ひします。

新体操部

顧問 ◎熊田 俊介
小沼 祐司



会津工業高校新体操部は、とても伝統のある部活動です。現在7人という部員数の中、顧問の熊田先生と副顧問の小沼先生、歴代OBの諸先輩方によって支えられて活動しています。そして成績においても、県大会は何回も優勝し、東北大会で上位入賞を繰り返して、全国大会出場を果たしています。

今年度は、全国選抜大会出場を果たしたものの、惜しくも入賞とは届きませんでした。ですので、今後の目標は、インターハイに出場し上位入賞して、支えてくださった方々に恩返しをしたいと思っています。そのために、チーム一丸となって日々努力を重ねて頑張っていきたいと考えています。

地 区	役 職	名 前	卒 業 年	
東 京	会 副	長 荒 井	K C A	
	幹 幹	岡 島	2 9	
	副 幹	金 五	3 2	
	会 計	五 十	3 3	
	会 計	五 十	3 3	
	会 計	五 十	3 5	
	会 計	五 十	3 5	
	会 計	五 十	3 8	
	会 計	五 十	4 0	
	会 計	五 十	4 2	
	会 計	五 十	4 3	
	会 計	五 十	4 4	
	会 計	五 十	4 5	
	会 計	五 十	4 6	
	会 計	五 十	4 7	
	会 計	五 十	4 8	
	会 計	五 十	4 9	
	会 計	五 十	5 0	
	東 海	会 副	長 荒 井	K C A
		幹 幹	岡 島	2 9
副 幹		金 五	3 2	
会 計		五 十	3 3	
会 計		五 十	3 3	
会 計		五 十	3 5	
会 計		五 十	3 5	
会 計		五 十	3 8	
会 計		五 十	4 0	
会 計		五 十	4 2	
会 計		五 十	4 3	
会 計		五 十	4 4	
会 計		五 十	4 5	
会 計		五 十	4 6	
会 計		五 十	4 7	
会 計		五 十	4 8	
会 計		五 十	4 9	
近 畿		会 副	長 荒 井	K C A
		幹 幹	岡 島	2 9
		副 幹	金 五	3 2
	会 計	五 十	3 3	
	会 計	五 十	3 3	
	会 計	五 十	3 5	
	会 計	五 十	3 5	
	会 計	五 十	3 8	
	会 計	五 十	4 0	
	会 計	五 十	4 2	
	会 計	五 十	4 3	
	会 計	五 十	4 4	
	会 計	五 十	4 5	
	会 計	五 十	4 6	
	会 計	五 十	4 7	
	会 計	五 十	4 8	
	会 計	五 十	4 9	
	若 松	会 副	長 荒 井	K C A
		幹 幹	岡 島	2 9
		副 幹	金 五	3 2
会 計		五 十	3 3	
会 計		五 十	3 3	
会 計		五 十	3 5	
会 計		五 十	3 5	
会 計		五 十	3 8	
会 計		五 十	4 0	
会 計		五 十	4 2	
会 計		五 十	4 3	
会 計		五 十	4 4	
会 計		五 十	4 5	
会 計		五 十	4 6	
会 計		五 十	4 7	
会 計		五 十	4 8	
会 計		五 十	4 9	

卒業年	前名	職役	地区	若
33	夫宏	常任	松	若
33	大宏	幹事	松	若
35	一史	幹事	松	若
36	誠	幹事	松	若
40	美男	幹事	松	若
44	美男	幹事	松	若
47	美男	幹事	松	若
50	健男	幹事	松	若
52	健男	幹事	松	若
53	志男	幹事	松	若
54	志男	幹事	松	若
55	志男	幹事	松	若
56	志男	幹事	松	若
57	志男	幹事	松	若
58	志男	幹事	松	若
59	志男	幹事	松	若
60	志男	幹事	松	若
61	志男	幹事	松	若
62	志男	幹事	松	若
63	志男	幹事	松	若
64	志男	幹事	松	若
65	志男	幹事	松	若
66	志男	幹事	松	若
67	志男	幹事	松	若
68	志男	幹事	松	若
69	志男	幹事	松	若
70	志男	幹事	松	若
71	志男	幹事	松	若
72	志男	幹事	松	若
73	志男	幹事	松	若
74	志男	幹事	松	若
75	志男	幹事	松	若
76	志男	幹事	松	若
77	志男	幹事	松	若
78	志男	幹事	松	若
79	志男	幹事	松	若
80	志男	幹事	松	若
81	志男	幹事	松	若
82	志男	幹事	松	若
83	志男	幹事	松	若
84	志男	幹事	松	若
85	志男	幹事	松	若
86	志男	幹事	松	若
87	志男	幹事	松	若
88	志男	幹事	松	若
89	志男	幹事	松	若
90	志男	幹事	松	若
91	志男	幹事	松	若
92	志男	幹事	松	若
93	志男	幹事	松	若
94	志男	幹事	松	若
95	志男	幹事	松	若
96	志男	幹事	松	若
97	志男	幹事	松	若
98	志男	幹事	松	若
99	志男	幹事	松	若
100	志男	幹事	松	若

[illegible][illegible]

森平新井田真佐蒲管江石笠猪石小渡薄今篠綿高金鈴渡二佐大兒星栗物弦金佐星閑菊星五十佐荒佐星閑鈴栗三西根
山塚田村田田瀬生家川黒間俣田橋部井崎引橋田木部順藤沢山城江弓田藤和地十嵐竹川藤木城橋森本
文賢武賢一伸忠一勝秀文信秀新光貞長一文安中勇佳俊光大正俊慎登貴雄一正恒富和康孝秀和暢昭三
敏雄作雄祐信吾平正彦昭任人正寛一次美重市寛郎恒吉雄郎人人彦昭祐清彦幸一義男雄由久生志夫夫司雄郎

鈴木	鈴佐	齋藤	小松	磯谷	湯田	古川	中川	京野	大川	武原	荒藤	渡部	渡部	古川	坂川	永嶺	新高	酒井	伊賀	秋山	渡馬	山西	高木	冠木	大江	浅沼	松沼	星田	田村	清野	鈴野	常寺	佐藤	吉橋					
木野	木野	藤	松	谷	田	川	川	野	原	藤	明	部	部	口	川	嶺	葉	橋	井	賀	山	浦	長	西	高	冠	江	浅	松	星	田	村	中	野	木	常	佐	吉	
敬昭	昭常	郁		勝	正	行	義	武	史	英	正	信	敏		公	敏	敏			國	久	清	德	和	忠	三	友	貞	慎	万	儀	吉	建	直	和				
助雄	雄夫	忠		昭	昭	雄	夫	佐	郎	榮	義	弘	義	昭	繁	胤	夫	男	喜	健	高	平	男	雄	次	夫	男	三	郎	仁	親	武	司	一	男	雄	夫	彦	忠

菊	片	大	阿	弓	堀	星	德	栗	佐	楠	大	荒	渡	松	古	野	五	十	渡	宮	星	長	佐	斎	小	川	門	吉	野	木	菅	江	渡	武	角	樋	志	佐	小	岡	大	渡	渡	古	西	田	高	高	鈴
地	岡	矢	部	田			田	城	藤		滝	井	部	田	川	口	風	十	部	城		澤	木	藤	池	俣	脇	川	口	村	家	川	部	藤	田	口	田	野	山	小 檜	村	堀	部	部	川	中	橋	橋	木
良	真	洋	龍	勝	一	芳	真	隆	俊				真	誠	宣	正	昭	久	与	精	和	茂	光	喜	紀	英	庸	一	光	義	千	代	敏	容			孝	正	藤	一	一	桂	政	安	太				
三	人	三	吉	美	清	雄	一	彦	久	光	修	勇	樹	一	昭	夫	勝	寿	雄	郎	一	郎	郎	也	男	久	雄	雄	実	也	夫	二	剛	正	喜	彦	昭	昇	進	雄	義	雄	敏	夫	吉	利	健	郎	

渡松安影細藤渡後長五^五高^五管板鈴白^五福野豐阿村水^五斎内^五浅田鈴白國渡^五日荒山星^五長^五鹿小大薄^五長^五芳佐岩石讓平室^五星桑
部島西山井野藤部嶺井橋沼橋木井島中島部井沼藤川田中木石分辺下井内^五谷川^五目沢竹^五谷川^五賀藤上川矢野井^五名
哲賢孝良一通恒芳信^五良^五順教清孝寿洋武宜卓賢義^五健^五元信恒幸正明陽秀^五与^五忠幸正俊俊勝敏利善志善重^五英
哉一男智廣敬美雄一勉一浩一行正貴勝郎朗博二一則誠一稔隆一雄雄喜生一明一明雄則昭道美雄信一朗勝正実正

山三 高梅矢大本田安早信佐笠五伊堀須沢金小飯吉柳坂成角兼大渡杉大渡林手代木小上五十本真治関石竹遠鈴熊川山渡
岸井橋宮部竹間中西川野藤五十藤藤井藤里子棕沢川川内田田子塚部本桃部林野風名鍋田原島藤木谷島口邊
正和久修憲公祥一健忠昭友清利勝昌義建武信新德次次房保紹利幸千幸正貞真行兵信響
遠春宮広身市明一季徹昭司英夫久治夫人輝晃一安久一求作嗣重夫雄雄男雄夫清哲雄之意実雄夫雄貢三介崇士修

伊目原加齋渡藤鈴小坂齋佐白江工佐渡中宮安佐伊古菅松新青佐佐安磯山白松玉齋荒山河内鈴鈴富
藤黒川藤藤部田木林風内藤々木井花院伯辺村下達藤藤川家本保木井藤西川内井山川藤井口村芝木木田
和昌格恵晴健順慧美稔光主邦保英利直雄広裕清克敏和清雅由比誠良政良吉新孝
博利皎二司司司子史義英夫夫大賢充泰一郎夫勇久隆光正美広一介昇平隆仁郎俊勤治宜呂一一朋吉雄吉市

暑い季節 भीकをすぎた頃と思います。会員の皆様にはお元気がご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年来の金融危機から始まる不景気も、会工生の進路選択にただならぬ影響を及ぼしています。その影響もな世の中ではありますが、後輩の会工生は、部活動や勉学、資格取得等、充実した高校生活をこせるよう頑張っています。

会工同窓会役員

平成21年9月現在

■本部		顧問 吉田一榮 20 K 会津若松市
会長	手代木利夫 28 A 会津若松市	石川善一 39 E 大阪府南市
副会長	大竹文夫 31 C 京都府精華町	金田 寛 21 M 郡山市
	星 芳雄 36 E 愛知県名古屋市	神田信之 31 M 福島市
	荒井士郎 34 K 神奈川県	長谷川一之 40 E 猪苗代町
	荒井 久 18 T 郡山市	猪俣勇一 43 G 会津坂下町
	星 武 27 E 福島市	佐野常雄 41 M 西会津町
	菅沼淳一 36 E 猪苗代町	小島淳一 41 M 西会津町
	大堀順一 27 C 会津坂下町	荒井誠一 49 A 会津美里町
	菅沼章生 29 C 湯川村	河野政昭 43 A 会津若松市
	鈴木 仁 21 M 西会津町	齋藤志勇 34 K 会津若松市
	横山嘉夫 26 M 会津美里町	木津光右 48 K 会津若松市
	西村一夫 31 E 会津若松市	古川義右 49 E 会津若松市
	渡部洋子 32 K 会津若松市	星 弘之 46 E 会津若松市
	小山源昭 38 A 会津若松市	瀬田晃旬 45 F 磐梯町
	栗城和夫 41 M 会津若松市	本名健一 44 G 会津若松市
	白井 充 38 K 会津美里町	五十嵐雄一 53 K 磐梯町
幹事長	若狭春生 32 K 会津若松市	坂内美佐子 50 C 会津若松市
幹事	藤田晴史 40 E 会津若松市	小松山勲 49 A 猪苗代町
副幹事長	山岸 清 41 A 会津若松市	曾根智子 46 L 会津若松市
	木村洋一 50 K 会津美里町	渡部恵子 46 L 会津若松市
	冠木忠之 28 E 会津若松市	梨子本傑 41 K 会津坂下町
	小林憲一 31 E 会津若松市	岩淵浩之 54 L 会津若松市
	江花光泰 31 L 会津若松市	中丸 淳 55 K 会津若松市
	片平 寛 32 M 会津若松市	坂内茂男 28 E 会津若松市
	加藤昭雄 33 T 会津若松市	関場一宏 33 K 会津若松市
	石原章男 33 A 会津若松市	真田郁夫 57 E 会津若松市
	佐藤松夫 33 K 会津若松市	佐藤正道 59 C 会津若松市
	根本一雄 36 E 会津若松市	渡邊 修 54 D 会津若松市
	近藤信行 40 E 会津若松市	岩淵浩之 54 L 会津若松市
	長谷川利彦 41 K 会津若松市	長崎敏秀 47 M 会津若松市
	佐藤幹夫 41 G 会津若松市	玉川 誠 44 M 会津若松市
	佐藤義之 42 M 会津若松市	田中 哲 55 K 会津若松市
	鈴木安太郎 31 E 会津若松市	中丸 淳 55 K 会津若松市
	石田 功 43 G 会津若松市	鶴巢幸江 58 M 会津若松市
	荒川富士雄 43 M 会津若松市	星 義一 51 A 会津若松市
	風間眞一 45 L 郡山市	小熊身知 51 M 会津若松市
	渡部 崇 45 L 会津若松市	
	菊地寿雄 48 D 会津若松市	
	菅原正晴 51 A 会津若松市	
	伊東幸治 53 C 会津若松市	
	菊地登真雄 52 M 会津若松市	
	佐藤 満 56 A 会津美里町	
	五十嵐昭夫 35 A さいたま市	
	村山幹夫 41 M 愛知県名古屋市	

会員数一覧表

※会員数の中には、物故者数も含まます。(平成19年8月現在)

科 名	会 員 数	物 故 者
染織科・繊維工業科	2,468	574
漆工科・工芸科 インテリア科	2,634	300
窯業科・セラミック科	2,710	362
応用化学科・工業化学科	2,121	566
化 学 工 学 科	2,008	16
機 械 科	4,295	333
精 密 機 械 科	606	11
電 気 科	2,425	95
電 子 科	1,568	22
情 報 技 術 科	622	1
建 築 科 建築インテリア科	2,397	137
専攻科デザイン科	140	2
産 業 科	215	8
併 設 中 学 校	623	107
本 郷 分 校	633	21
旧 職 員	1,031	407
総 数	26,496	2,962

襟章にあらわされた各科の略号

染織科・繊維工業科	T	TEXTILE	(英)
漆工科・工芸科	L	LACQUER	(英)
インテリア科	I	INTERIOR	(英)
窯業科・セラミック科	K	KERAMIK	(独)
セラミック科(H5.4より)	F	FINE CERAMIC	(英)
応用化学科・工業化学科	C	CHEMISTRY	(英)
化 学 工 学 科	G	GADGET	(英)
機 械 科	M	MACHINE	(英)
精 密 機 械 科	F	FINENES	(英)
電 気 科	E	ELECTRICITY	(英)
電 子 科	D	DENSHI	(日)
建 築 科	A	ARCHITECTURE	(英)
建築インテリア科	K	KENTIKU INTERIOR	(日)
電気工事科	S	SANGYO	(日)
溶 接 科	W	WELDING	(英)
デ ザ イ ン 科	デ	デザイン	(日)
情 報 技 術 科	J	JYOHOGIYUTU	(日)
本 郷 分 校	K	KERAMIK	(独)

平成20年4月より

建築インテリア科	A	ARCHITECTURE INTERIOR	(英)
セラミック化学科	C	CERAMIC CHEMISTRY	(英)
機 械 科	M	MACHINE	(英)
電 気 科	E	ELECTRICITY	(英)
情 報 技 術 科	I	INFORMATION TECHNOLOGY	(英)

Wataru Hokoyama

♪=112

Vocal

1. あかい おどぐえん ばんねさ だいのねさ めいさい のとに ぼれひ こかく うれく

2. あかい おどぐえん ばんねさ だいのねさ めいさい のとに ぼれひ こかく うれく

3. あかい おどぐえん ばんねさ だいのねさ めいさい のとに ぼれひ こかく うれく

いあ ませえ めとを いなだ いみし ーだー のとい おうげ いじょう ーあほみ さぐかい にみて ーささ

あーすすもー うよしー んりー もとめて ーせいせい

あーかたろー うよしー んりー もとめて ーせいせい

あーかたろー うよしー んりー もとめて ーせいせい

いあ ませえ めとを いなだ いみし ーだー のとい おうげ いじょう ーあほみ さぐかい にみて ーささ

あーすすもー うよしー んりー もとめて ーせいせい

あーかたろー うよしー んりー もとめて ーせいせい

いあ ませえ めとを いなだ いみし ーだー のとい おうげ いじょう ーあほみ さぐかい にみて ーささ

あーすすもー うよしー んりー もとめて ーせいせい

あーかたろー うよしー んりー もとめて ーせいせい

会工賛歌(創立百周年記念歌)

作詞 会工高・100周年記念事業 実行委員会

作曲 Wataru Hokoyama

(鋒山 亘)

一、あおぐ磐梯 我らの母校

いま黎明の 思い新たに

さあ進もうよ 真理もとめて

青春かがやけ 会工さわやかに

二、数えきれぬ 出会いと別れ

汗と涙と 友情はぐくみ

さあ語ろうよ 明日をみつめて

青春かがやけ 会工うつくしく

三、挑むころ 無限に広く

知恵を出し合い 技をみがいて

さあ創ろうよ 夢をかたちに

青春かがやけ 会工たくましく

鶴翔会館



同窓会館〔鶴翔会館〕
位置：松江講堂跡地
構造：木造二階建 1階342㎡
施設：宿泊室・研修室兼食堂・浴室など
設計：東面の表玄関上部に、松江講堂のイメージが生かされている
北面の外壁上部はモニュメントで飾られている

福島県会津若松市徒之町一番三七号

福島県立会津工業高等学校

同窓会事務局

宛

お手数でも
50円切手を
お貼り下さい

各 位

平成21年 9月15日



福島県立会津工業高等学校
同窓会会長 手代木 利夫
若松会工委会長 手代木 利夫

本部・若松会工同窓会総会の開催についての御案内

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。さてこのたび、下記により本部・若松会工同窓会総会を開催いたしますので、御多用のところ恐縮に存じますが、同窓諸氏をお誘いあわせのうえ、御出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1 日 時 平成21年10月17日(土)

(1)若松会工委会

午後4時開会(受付 午後3時より)

(2)本部会工同窓会総会

午後5時開会(受付 午後4時より)

2 場 所 ホテルいづみや 会津若松市南千石町6-35御薬園前 TEL0242-27-5538

3 懇親会費 **5,000**円(新卒者は2,000円)

※出席のご返信を10月3日(土)までお願いできれば幸いです。

FAX送信票

※出欠をFAX送信される場合、このまま

同窓会専用 0242-29-1992

学 校 0242-29-9239へ

※FAX送信元

ご住所

ご氏名

TEL

〈近況・ご意見等〉

-----ハ ガ キ キ リ ト リ-----

会工同窓会総会(10月17日(土))

	ご出席	ご欠席
若松会工委会 (午後4時)		
本 部 総 会 (午後5時)		
懇 親 会 (午後6時)		

いずれかに○印を
書き入れてください

ご住所			
ご氏名		TEL	
ご卒業科・年			

※お誘いくださって、御出席いただける方も
御記入ください。

卒業年度	御 氏 名	TEL

〈近況・ご意見等〉

※出欠のご返信は10月3日(土)までお願いできれば幸いです。